



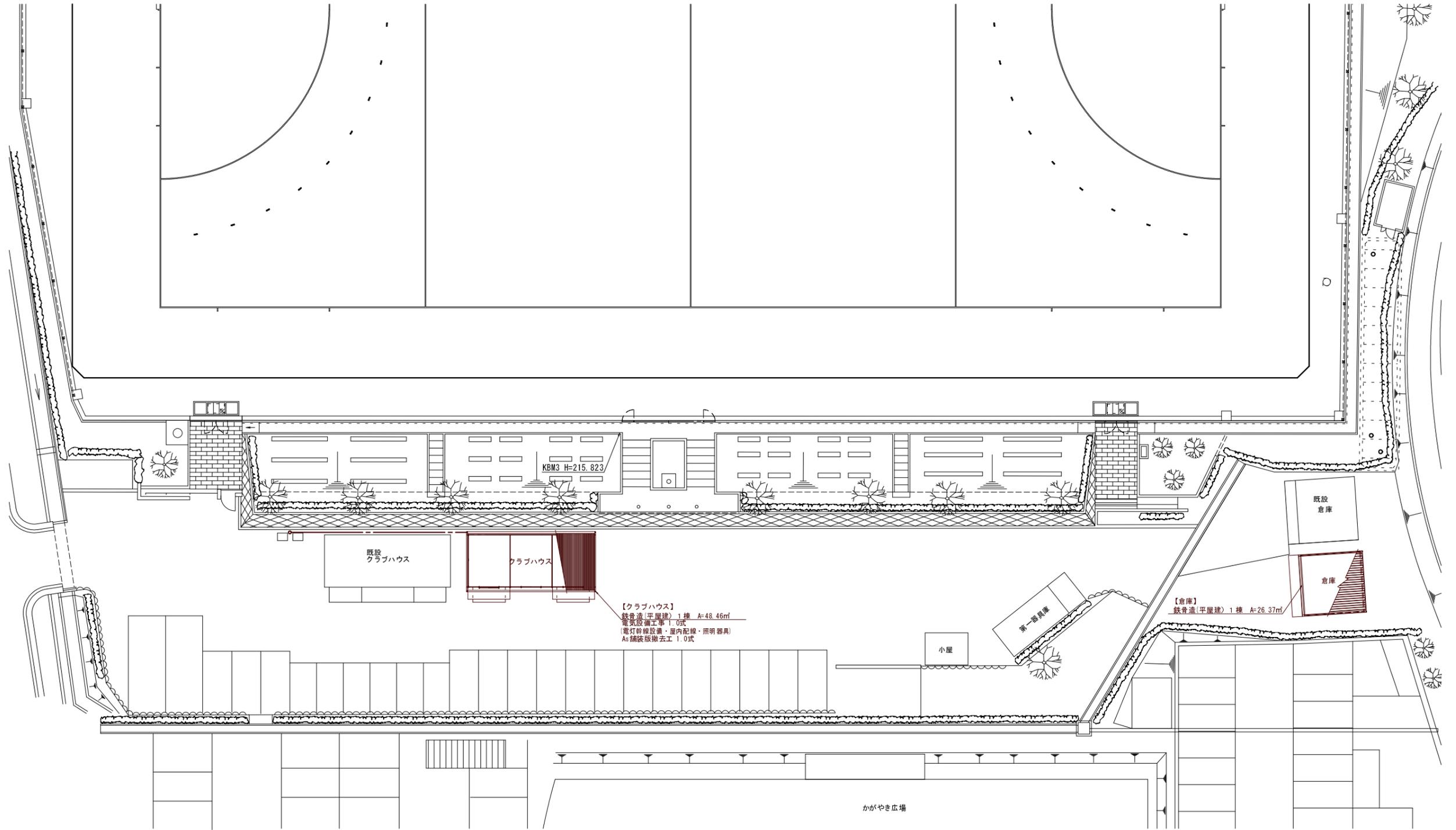
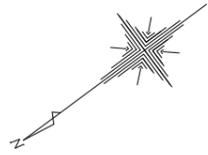
章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
4	6 土間断熱材	※ 押出法ポリスチレンフォーム3種bのスキン層付き 厚さ ※25 mm ○ mm	6	6 構造体強度補正値 (6.3.2)	※ 気温による構造体強度補正値 (S) (表6.4.1)	7	1 鉄骨の製作工場	○ 監督職員の承諾する工場 ※ 建築基準法第7条の5第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた(株)日本鉄骨評価センター又は(株)全国鉄骨評価機構 (旧(社)全国鉄骨工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「(○S ○H ○M ○R ○J) グレード」として、国土交通大臣から認定を受けた工場もしくは同等以上の能力のある工場	7	13 アンカーボルト (7.2.4) (7.10.3)	適用 ● 構造用アンカー 材質 ○ <b>SNR400B</b> ○ ( ) アンカーフレームの形状及び寸法 ○ 図示による ( ) ○ ( ) ● 建方用アンカー 材質 ○ <b>SS400</b> アンカーボルトの保持及び埋め込み方法 (表7.10.1) 種別 ○ A種 ○ B種 ○ C種 柱底均しモルタルの厚さ ○ 50mm ○ 30mm
	7 地盤改良	○ 現場発生土を再利用する。 ○ 改良方法 ※ セメント及びセメント系固材材を使用した改良土を使用する場合、六価クロム溶出試験を実施し、土壌環境基準を協定して必要に応じ適切な措置を講ずること、また、再利用しようとする場合は、基準以下であることを確認すること。 ※ 「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」(旧 日本建築のナ)を参考とすること。		7 暑中におけるコンクリートの扱い (6.12.2)	※ 暑中における構造体強度補正値 (S)		2 施工管理技術 (7.1.3) (7.1.4)	※ 適用する ○ 適用しない		4 アンカーボルト (7.2.2) (7.3.2)	ボルトの区分 ○ トルシア形高力ボルト セットの種類 ○ 2種 (S10F) ○ J1S形高力ボルト セットの種類 ○ 2種 (F10F)
5	1 鉄筋の種類 (5.2.1)	(表5.2.1)	5	8 寒中コンクリート	※ 予想平均気温が表6.4.1に示す予想平均気温未満の場合には標仕第6章第1.2節(寒中コンクリート)による。	7	2 施工管理技術 (7.1.3) (7.1.4)	※ 適用する ○ 適用しない	7	5 錆止め塗料 (7.8.3) (18.3.2)	塗料の種類 ● 鉄鋼面の錆止め塗料 屋外 ○ 標準仕様書18.3.2表18.3.1 ※ A種 ○ ( ) ○ ( ) 屋内 ○ 標準仕様書18.3.2表18.3.1 ※ A種 ○ B種 ○ ( ) ○ ( ) ○ 亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料 ○ 標準仕様書18.3.2表18.3.1 ※ A種 ○ B種 ○ C種 ○ ( ) 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面(鉄骨に溶接されたものに限り) ○ 標準仕様書18.3.2表18.3.1 ※ A種 ○ B種 ○ ( ) ○ ( ) 耐久被覆材の接着する面への塗装 ○ 行わない ○ 行う
	2 溶接金網 (5.2.2)	網目の形状、寸法 100×100 鉄筋の径 (mm) 6.6		9 コンクリートの試験 (6.9.2) ~ (6.9.5)	※ フレッシュコンクリートの試験 ※ コンクリートの強度試験 ○ 材料試験		3 鋼材の種類 (7.2.1)	材質 ( )		5 溶融亜鉛メッキ高力ボルト (7.2.2) (7.3.2)	セットの種類 ○ 1種 (F8相当) 摩擦面の処理 ○ プラスト処理(表面粗度 $0.05\mu\text{mRz}$ 以上) ○ リン酸塩処理 すべり耐力等の確認方法 ※ すべり耐力試験 試験方法等 ○ 図示による ( )
6	3 鉄筋の継手 (5.3.4)	部 位 接 合 方 法 径 (mm) 重ね継手の長さ ※ 柱・梁の主筋 ※ ガス圧接 ○ 重ね継手 D19以上 ※ 標仕表5.3.2 ○ 機械式継手 ○ 機械式継手 D19以上による ※ その他 ○ ガス圧接 ※ 重ね継手 D16以下 ○ 別図表による ○ 機械式継手 種類 ○ ( ) 工法 ○ ( ) 品質確認方法、修正方法等 ○ ( )	6	10 軽量コンクリート (6.10.1)	種別 ○ 1種 ※ 2種 施工箇所 _____	7	3 鋼材の種類 (7.2.1)	材質 ( )	7	8 補強コンクリートブロック造 (8.2.2) ~ (8.2.4)	ブロックの種類 ※ 16 (C種) 普通ブロック ○ 16F (C種) 防水ブロック コンクリートの設計基準強度 $F_c$ (N/mm <sup>2</sup> ) 充填用及びまぐさ ※ 18 以上 ○ 上記以外 ※ 21 以上 ○ 設備配管用ブロック組みの種別 ※ 08 (A種) 普通ブロック ○
	4 鉄筋のかぶり厚さ (5.3.5)	※ かぶり厚さは目地成から算定する。 ※ 耐久上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さは下表による。		11 型枠(せき板) (6.8.2) (6.8.3) (6.2.4)	合板の規格 ※ コンクリート型枠用合板の日本農林規格による合板 ○ 合板の材種 ※ 広葉樹合板、針葉樹合板又はこれらの複合合板 ○ 厚さ (mm) ※ 12 ○		4 ターンバックル (7.2.6)	鋼の種類 ※ 割断式 ○ バイブ式 ボルトの種類 ※ 両子板ボルト ○ 両ねじボルト ○ アイボルト		7 工作用 (7.3.2)	高力ボルト、普通ボルトのクランプ、ベアキ等 ※ 図示による (図に無い場合は鉄骨設計基準による)
6	5 圧接完了後の試験 (5.4.9)	試験方法 ※ 超音波探傷試験 ○ 引張試験	6	12 スリーブ (6.8.3)	スリーブの材種 (表6.9.1)	7	4 ターンバックル (7.2.6)	鋼の種類 ※ 割断式 ○ バイブ式 ボルトの種類 ※ 両子板ボルト ○ 両ねじボルト ○ アイボルト	7	9 溶接作業員における技能資格者 (7.6.3)	溶接作業員の技量付加試験 ※ 行わない ○ 行う 試験の要領 ○ 図示による ( ) ○ ( )
	1 コンクリートの強度 (6.2.2)	設計基準強度 (F <sub>c</sub> )		13 耐震スリット (6.8.3)	方 向 タ イ プ 耐火性能 防水性能 ○ 垂直方向 ※ 完全(全貫通型)スリット ○ 耐火型 ○ 有り ○ 水平方向 ○ セン断型部分スリット ○ 非耐火型 ○ 無し		10 溶接接合 (7.6.4) (7.6.7)	開先の形状 ○ 図示による ○ 構造関係共通図(鉄骨標準図)による ○ スカラップの形状 ○ 図示による ○ 構造関係共通図(鉄骨標準図)による ○ 改良型スカラップ エンドタブの切除する部分 ○ 見え隠れ部となる部分 ○ 見え隠れ部となる部分 ○ 切除する部分なし		11 溶接部試験 (7.6.11)	完全溶込溶接部の超音波探傷試験 ※ 行う ○ 行わない ○ 工場溶接の場合 AOQL 検査水準 ○ 4.0 ○ 2.5 ○ 第6水準(厳密) ○ 工場現場溶接の場合 AOQL 4.0 2.5
6	2 レディーミクストコンクリートの類別等 (6.4.2)	レディーミクストコンクリートの類別 ※ I類 ○ II類	6	13 耐震スリット (6.8.3)	方 向 タ イ プ 耐火性能 防水性能 ○ 垂直方向 ※ 完全(全貫通型)スリット ○ 耐火型 ○ 有り ○ 水平方向 ○ セン断型部分スリット ○ 非耐火型 ○ 無し	7	5 溶融亜鉛メッキ高力ボルト (7.2.2) (7.3.2)	セットの種類 ○ 1種 (F8相当) 摩擦面の処理 ○ プラスト処理(表面粗度 $0.05\mu\text{mRz}$ 以上) ○ リン酸塩処理 すべり耐力等の確認方法 ※ すべり耐力試験 試験方法等 ○ 図示による ( )	7	10 溶接接合 (7.6.4) (7.6.7)	開先の形状 ○ 図示による ○ 構造関係共通図(鉄骨標準図)による ○ スカラップの形状 ○ 図示による ○ 構造関係共通図(鉄骨標準図)による ○ 改良型スカラップ エンドタブの切除する部分 ○ 見え隠れ部となる部分 ○ 見え隠れ部となる部分 ○ 切除する部分なし
	3 セメントの種類 (6.3.1)	※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA ○ 高炉セメントのB種		13 耐震スリット (6.8.3)	方 向 タ イ プ 耐火性能 防水性能 ○ 垂直方向 ※ 完全(全貫通型)スリット ○ 耐火型 ○ 有り ○ 水平方向 ○ セン断型部分スリット ○ 非耐火型 ○ 無し		7 工作用 (7.3.2)	高力ボルト、普通ボルトのクランプ、ベアキ等 ※ 図示による (図に無い場合は鉄骨設計基準による)		11 溶接部試験 (7.6.11)	完全溶込溶接部の超音波探傷試験 ※ 行う ○ 行わない ○ 工場溶接の場合 AOQL 検査水準 ○ 4.0 ○ 2.5 ○ 第6水準(厳密) ○ 工場現場溶接の場合 AOQL 4.0 2.5
6	4 骨材 (6.3.1)	粗骨材 ※ 砂利(JIS A5308)、砕石(JIS A5005) ○ 高炉スラグ ○ 電気炉焼成バグ ○ 再生骨材 細骨材 ※ 砂(JIS A5308)、砕砂(JIS A5005) ○ 高炉スラグ ○ 電気炉焼成バグ ○ 振切が ○ フェロニッカルスラグ ○ 再生骨材	6	13 耐震スリット (6.8.3)	方 向 タ イ プ 耐火性能 防水性能 ○ 垂直方向 ※ 完全(全貫通型)スリット ○ 耐火型 ○ 有り ○ 水平方向 ○ セン断型部分スリット ○ 非耐火型 ○ 無し	7	7 工作用 (7.3.2)	高力ボルト、普通ボルトのクランプ、ベアキ等 ※ 図示による (図に無い場合は鉄骨設計基準による)	7	11 溶接部試験 (7.6.11)	完全溶込溶接部の超音波探傷試験 ※ 行う ○ 行わない ○ 工場溶接の場合 AOQL 検査水準 ○ 4.0 ○ 2.5 ○ 第6水準(厳密) ○ 工場現場溶接の場合 AOQL 4.0 2.5
	5 異和材料 (6.3.1)	混和剤 ※ AE剤、AE減水剤又は高性能AE減水剤の1種(JIS A6201) 混和材 ※ フライアッシュ(JIS A6201)1種又はII種		13 耐震スリット (6.8.3)	方 向 タ イ プ 耐火性能 防水性能 ○ 垂直方向 ※ 完全(全貫通型)スリット ○ 耐火型 ○ 有り ○ 水平方向 ○ セン断型部分スリット ○ 非耐火型 ○ 無し		7 工作用 (7.3.2)	高力ボルト、普通ボルトのクランプ、ベアキ等 ※ 図示による (図に無い場合は鉄骨設計基準による)		11 溶接部試験 (7.6.11)	完全溶込溶接部の超音波探傷試験 ※ 行う ○ 行わない ○ 工場溶接の場合 AOQL 検査水準 ○ 4.0 ○ 2.5 ○ 第6水準(厳密) ○ 工場現場溶接の場合 AOQL 4.0 2.5
6	1 コンクリートの強度 (6.2.2)	設計基準強度 (F <sub>c</sub> )	6	13 耐震スリット (6.8.3)	方 向 タ イ プ 耐火性能 防水性能 ○ 垂直方向 ※ 完全(全貫通型)スリット ○ 耐火型 ○ 有り ○ 水平方向 ○ セン断型部分スリット ○ 非耐火型 ○ 無し	7	8 仮組 (7.3.10)	○ 実施する 部位 ( ) ○ 実施しない	7	12 スリーブ (6.8.3)	スリーブの材種 (表6.9.1)
	2 レディーミクストコンクリートの類別等 (6.4.2)	レディーミクストコンクリートの類別 ※ I類 ○ II類		13 耐震スリット (6.8.3)	方 向 タ イ プ 耐火性能 防水性能 ○ 垂直方向 ※ 完全(全貫通型)スリット ○ 耐火型 ○ 有り ○ 水平方向 ○ セン断型部分スリット ○ 非耐火型 ○ 無し		12 スリーブ (6.8.3)	スリーブの材種 (表6.9.1)		12 スリーブ (6.8.3)	スリーブの材種 (表6.9.1)
6	3 セメントの種類 (6.3.1)	※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA ○ 高炉セメントのB種	6	13 耐震スリット (6.8.3)	方 向 タ イ プ 耐火性能 防水性能 ○ 垂直方向 ※ 完全(全貫通型)スリット ○ 耐火型 ○ 有り ○ 水平方向 ○ セン断型部分スリット ○ 非耐火型 ○ 無し	7	9 溶融亜鉛メッキ高力ボルト (7.2.2) (7.3.2)	セットの種類 ○ 1種 (F8相当) 摩擦面の処理 ○ プラスト処理(表面粗度 $0.05\mu\text{mRz}$ 以上) ○ リン酸塩処理 すべり耐力等の確認方法 ※ すべり耐力試験 試験方法等 ○ 図示による ( )	7	13 耐震スリット (6.8.3)	方 向 タ イ プ 耐火性能 防水性能 ○ 垂直方向 ※ 完全(全貫通型)スリット ○ 耐火型 ○ 有り ○ 水平方向 ○ セン断型部分スリット ○ 非耐火型 ○ 無し
	4 骨材 (6.3.1)	粗骨材 ※ 砂利(JIS A5308)、砕石(JIS A5005) ○ 高炉スラグ ○ 電気炉焼成バグ ○ 再生骨材 細骨材 ※ 砂(JIS A5308)、砕砂(JIS A5005) ○ 高炉スラグ ○ 電気炉焼成バグ ○ 振切が ○ フェロニッカルスラグ ○ 再生骨材		13 耐震スリット (6.8.3)	方 向 タ イ プ 耐火性能 防水性能 ○ 垂直方向 ※ 完全(全貫通型)スリット ○ 耐火型 ○ 有り ○ 水平方向 ○ セン断型部分スリット ○ 非耐火型 ○ 無し		13 耐震スリット (6.8.3)	スリーブの材種 (表6.9.1)		13 耐震スリット (6.8.3)	スリーブの材種 (表6.9.1)
6	5 異和材料 (6.3.1)	混和剤 ※ AE剤、AE減水剤又は高性能AE減水剤の1種(JIS A6201) 混和材 ※ フライアッシュ(JIS A6201)1種又はII種	6	13 耐震スリット (6.8.3)	方 向 タ イ プ 耐火性能 防水性能 ○ 垂直方向 ※ 完全(全貫通型)スリット ○ 耐火型 ○ 有り ○ 水平方向 ○ セン断型部分スリット ○ 非耐火型 ○ 無し	7	10 溶接接合 (7.6.4) (7.6.7)	開先の形状 ○ 図示による ○ 構造関係共通図(鉄骨標準図)による ○ スカラップの形状 ○ 図示による ○ 構造関係共通図(鉄骨標準図)による ○ 改良型スカラップ エンドタブの切除する部分 ○ 見え隠れ部となる部分 ○ 見え隠れ部となる部分 ○ 切除する部分なし	7	14 押出成形セメント板 (8.5.2)	種類 ※ 無石タイプ(タイプII) 施工箇所 表 面 形 状 厚 さ (mm) 工 法 耐火性能 ○ 外壁 ※ フラットパネル ○ 35 ○ A種 ○ 有り (時間) ○ デザインパネル(図示) ○ 50 ○ B種 ( ) ○ タイルベースパネル ○ 60 ○ C種 ○ 無し ※ フラットパネル ○ 35 ○ B種 ○ 有り ○ デザインパネル(図示) ○ 50 ○ C種 (時間) ○ タイルベースパネル ○ 60 ○ 無し
	1 コンクリートの強度 (6.2.2)	設計基準強度 (F <sub>c</sub> )		14 押出成形セメント板 (8.5.2)	種類 ※ 無石タイプ(タイプII) 施工箇所 表 面 形 状 厚 さ (mm) 工 法 耐火性能 ○ 外壁 ※ フラットパネル ○ 35 ○ A種 ○ 有り (時間) ○ デザインパネル(図示) ○ 50 ○ B種 ( ) ○ タイルベースパネル ○ 60 ○ C種 ○ 無し ※ フラットパネル ○ 35 ○ B種 ○ 有り ○ デザインパネル(図示) ○ 50 ○ C種 (時間) ○ タイルベースパネル ○ 60 ○ 無し		14 押出成形セメント板 (8.5.2)	種類 ※ 無石タイプ(タイプII) 施工箇所 表 面 形 状 厚 さ (mm) 工 法 耐火性能 ○ 外壁 ※ フラットパネル ○ 35 ○ A種 ○ 有り (時間) ○ デザインパネル(図示) ○ 50 ○ B種 ( ) ○ タイルベースパネル ○ 60 ○ C種 ○ 無し ※ フラットパネル ○ 35 ○ B種 ○ 有り ○ デザインパネル(図示) ○ 50 ○ C種 (時間) ○ タイルベースパネル ○ 60 ○ 無し		14 押出成形セメント板 (8.5.2)	種類 ※ 無石タイプ(タイプII) 施工箇所 表 面 形 状 厚 さ (mm) 工 法 耐火性能 ○ 外壁 ※ フラットパネル ○ 35 ○ A種 ○ 有り (時間) ○ デザインパネル(図示) ○ 50 ○ B種 ( ) ○ タイルベースパネル ○ 60 ○ C種 ○ 無し ※ フラットパネル ○ 35 ○ B種 ○ 有り ○ デザインパネル(図示) ○ 50 ○ C種 (時間) ○ タイルベースパネル ○ 60 ○ 無し

月 日	工事名	図面名称	縮 尺	図面No.	設計No.				
	26-A248E	特記仕様書 NO. 2	年月日	A-02					
	平成26年度 グリーンランドみずほホッケー場クラブハウス設置工事								

9 防水工事	<p>アスファルト防水 (9.2.2) (9.2.3)</p> <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>別</th><th>防水層</th><th>施工箇所</th></tr> <tr><td rowspan="2">○ 保護防水</td><td>○ A-1</td><td>○ A-2</td><td>表9.2.3</td></tr> <tr><td>○ A1-1</td><td>○ A1-2</td><td>表9.2.4</td></tr> <tr><td rowspan="2">○ 露出防水</td><td>○ B-1</td><td>○ B-2</td><td>表9.2.5</td></tr> <tr><td>○ B1-1</td><td>※ B1-2</td><td>表9.2.6</td></tr> <tr><td>○ 屋内防水</td><td>※ D-1</td><td>○ D-2</td><td>表9.2.7</td></tr> <tr><td>○ 屋内防水</td><td>※ E-1</td><td>○ E-2</td><td>表9.2.8</td></tr> </table> <p>アスファルトの種類 ※ 3種 ○ アスファルトルーフィング ※ 1500 ○</p> <p>断熱工法の断熱材 厚さ (mm) ※ 2.5 ○ 材質 押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bのスタン層付 (ただし、特定フロンを含まないものとする。)</p> <p>絶縁用シート ※ ポリエチレンフィルム厚0.15 (保護防水工法) ※ フラットヤーンクロス (70g/㎡程度) (保護防水断熱工法)</p> <p>端部押え金物 ※ アルミニウム製 L=30×15×2.0 ○</p> <p>立上がり押え ※ レンガ押え (JIS) ○ 脱気装置 ○ 設ける 材質 ( ) 設置数量 (1箇所/㎡)</p> <p>伸縮調整目地 ※ 成形伸縮目地材 ○ 成形継ぎ目材 ※ ルーフィング類製造所の指定品 ○ 屋根保護防水工法の保護層 表面仕上げ ※ 金ごて仕上げ ○</p> <p>2 改質アスファルトシート防水 (9.3.2)</p> <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>種類及び厚さ</th><th>仕上塗料</th></tr> <tr><td>○ AS-1</td><td></td><td>※ 9.3.2 (a)による</td><td>○ カラー</td></tr> <tr><td>○ AS-2</td><td></td><td></td><td>○ シルバー</td></tr> </table> <p>脱気装置 (絶縁工法の場合) ※ 設ける 材質 ( ) 設置数量 (1箇所/㎡)</p> <p>3 合成高分子系ルーフィングシート防水 (9.4.2) (9.4.4)</p> <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>厚さ (mm)</th><th>施工箇所</th><th>仕上塗料</th></tr> <tr><td>○ S-F1</td><td>※ 1.5</td><td></td><td>○ カラー</td></tr> <tr><td>○ S-F2</td><td>※ 2.0</td><td></td><td>○ シルバー</td></tr> <tr><td>○ S-M1</td><td>※ 1.5</td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>○ S-M2</td><td>※ 1.5</td><td></td><td>○ (露出の場合)</td></tr> <tr><td>○ S-M3</td><td>※ 1.2</td><td></td><td>○</td></tr> </table> <p>絶縁用シート ※ 発泡ポリエチレンシート ○ 脱気装置 ○ 設ける 材質 ( ) 設置数量 (1箇所/㎡) ※ 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定める。</p> <p>4 塗膜防水 (9.5.3)</p> <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>仕上塗料</th></tr> <tr><td>○ T-1</td><td></td><td>○ カラー</td></tr> <tr><td>○ T-2</td><td></td><td>○ シルバー</td></tr> <tr><td>○ T-1</td><td>地下外壁防水</td><td>○ カラー</td></tr> <tr><td>○ T-2</td><td>屋内防水</td><td>○ シルバー</td></tr> </table> <p>脱気装置 (T-1) ○ 設ける 材質 ( ) 設置数量 (1箇所/㎡) 保護層 (T-2) ○ 設ける</p> <p>5 漏水試験 ※ 水張り試験を行う (○ 屋内 ○ 屋外)</p> <p>6 保証書 ※ 受注者、防水施工業者、防水材料メーカーの連名による保証書を出すこと。 (保証期間は工事目的物引渡しより10年間以上とする。)</p> <p>7 シーリング (9.7.2) シーリング材の種類 ※ 表9.7.1による</p> <p>8 目地寸法 (9.7.3) コンクリートの打継ぎ目地及びびり割れ誘発目地 ※ 幅20mm以上、深さ10mm以上 ○ ガラス回りの目地 ※ 幅5mm以上、深さ5mm以上 ○ モル地の目地 ※ 幅10mm以上、深さ10mm以上 ○</p> <p>9 シーリングの試験 (9.7.5) ※ 簡易接着性試験 (部位 ) ○ 引張接着性試験 (部位 )</p> <p>10 止水板 材質 _____ 形状 ○ 差込式 ○ 掘取式 ○ 壁張り式 適用範囲 _____</p>	種別	別	防水層	施工箇所	○ 保護防水	○ A-1	○ A-2	表9.2.3	○ A1-1	○ A1-2	表9.2.4	○ 露出防水	○ B-1	○ B-2	表9.2.5	○ B1-1	※ B1-2	表9.2.6	○ 屋内防水	※ D-1	○ D-2	表9.2.7	○ 屋内防水	※ E-1	○ E-2	表9.2.8	種別	施工箇所	種類及び厚さ	仕上塗料	○ AS-1		※ 9.3.2 (a)による	○ カラー	○ AS-2			○ シルバー	種別	厚さ (mm)	施工箇所	仕上塗料	○ S-F1	※ 1.5		○ カラー	○ S-F2	※ 2.0		○ シルバー	○ S-M1	※ 1.5		○	○ S-M2	※ 1.5		○ (露出の場合)	○ S-M3	※ 1.2		○	種別	施工箇所	仕上塗料	○ T-1		○ カラー	○ T-2		○ シルバー	○ T-1	地下外壁防水	○ カラー	○ T-2	屋内防水	○ シルバー	10 石工事	<p>1 天然石張り (10.2.1)</p> <p>石の品質 床用石材 ○ 1等品 ※ 2等品 壁及びその他の石材 ※ 1等品 ○ 2等品</p> <p>石の種類・表面仕上げ</p> <table border="1"> <tr><th>施工箇所</th><th>種類 (産地、名物)</th><th>表面仕上げの種類</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>2 テラゾ張り (10.2.1) 種石の種類 ※ 大理石 ○ 表面仕上げ ※ 本磨き ○ (表10.2.2)</p> <p>3 壁の石張り工法 (10.3.3) 外壁石張り 工法 ○ 外壁湿式工法 (※ 流し筋工法 ○ ) ○ 乾式工法 ※ 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定める。</p> <p>4 床及び階段の石張り (10.6.2) (10.6.3) 石の厚さ (mm) _____ 床石裏の裏面処理 ※ 行わない ○ 行う 屋内のワックス掛け ○ 行わない ※ 行う</p>	施工箇所	種類 (産地、名物)	表面仕上げの種類				11 タイル工事	<p>1 伸縮調整目地等 (11.1.3) 外壁 ※ (表11.1.1)による ○ 隠すによる ○ 屋内壁面 ※ 隠すによる ○</p> <p>2 施工後の確認及び試験 (11.1.5) 浮きの確認 ※ 全面打診による確認を行う 接着力の試験 ※ 接着力試験機による接着力試験を行う ○ 行わない</p> <p>3 陶磁器質タイル張り (11.2.1) タイルの種類 (表11.3.2)</p> <table border="1"> <tr><th>施工箇所及びタイルの種類</th><th>形状寸法(mm)</th><th>生地</th><th>釉薬</th><th>役物</th><th>色</th><th>耐凍害性</th><th>工法</th></tr> <tr><td rowspan="3">○ 壁面</td><td rowspan="3">○ 正方形</td><td>○ 磁器</td><td>○ 無釉</td><td>○ 有り</td><td>※ 標準</td><td>○ 有り</td><td rowspan="3">○</td></tr> <tr><td>○ 陶器</td><td>○ 無釉</td><td>○ 無し</td><td>○ 特注</td><td>○ 無し</td></tr> <tr><td>○ 陶器</td><td>○ 無釉</td><td>○ 無し</td><td>○ 特注</td><td>○ 無し</td></tr> <tr><td rowspan="3">○ 床面</td><td rowspan="3">○ 正方形</td><td>○ 磁器</td><td>○ 無釉</td><td>○ 有り</td><td>※ 標準</td><td>○ 有り</td><td rowspan="3">○</td></tr> <tr><td>○ 陶器</td><td>○ 無釉</td><td>○ 無し</td><td>○ 特注</td><td>○ 無し</td></tr> <tr><td>○ 陶器</td><td>○ 無釉</td><td>○ 無し</td><td>○ 特注</td><td>○ 無し</td></tr> </table> <p>4 張付け用材料 (11.2.3) 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ○</p>	施工箇所及びタイルの種類	形状寸法(mm)	生地	釉薬	役物	色	耐凍害性	工法	○ 壁面	○ 正方形	○ 磁器	○ 無釉	○ 有り	※ 標準	○ 有り	○	○ 陶器	○ 無釉	○ 無し	○ 特注	○ 無し	○ 陶器	○ 無釉	○ 無し	○ 特注	○ 無し	○ 床面	○ 正方形	○ 磁器	○ 無釉	○ 有り	※ 標準	○ 有り	○	○ 陶器	○ 無釉	○ 無し	○ 特注	○ 無し	○ 陶器	○ 無釉	○ 無し	○ 特注	○ 無し	12 木工事	<p>1 表面仕上げ (12.1.4) 表面仕上げの程度 ○ A種 ※ B種 ○ C種 ○ D種 (表12.1.1)</p> <p>2 木材の含水率 (12.2.1) 構造材 ※ A種(20以下) ○ B種(25以下) (表12.2.1) 下地材 ※ A種(5以下) ○ B種(20以下) 造作材 ※ A種(5以下) ○ B種(18以下)</p> <p>3 木材の品質 (12.2.1) 品質の基準</p> <table border="1"> <tr><th colspan="2">構造材</th><th colspan="2">下地材</th><th colspan="2">造作材</th></tr> <tr><td>柱 (見掛り部)</td><td>梁 (見掛り部)</td><td>(見掛り部)</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>※ A種</td><td>※ A種</td><td>※ 隠す</td><td>※ 隠す</td><td>※ A種</td><td>※ B種</td></tr> </table> <p>4 樹種 (12.2.1) 使用木材のうち杉、ひのきについては京都府内産木材とする。 ○ 工事完成までに、京都府内産木材証明書及びびり割れ誘発目地計算書を提出すること。 証明書及び計算書の発行に係る手続きについては次の期間による。 京都府地球温暖化防止活動推進センター TEL: 075-21-8895 URL: http://www.kefca.or.jp/wood/index.php 注) 証明書は製材所、流通業者の全てが取扱い事業者でなければ発行されない。 詳細は上記URLを参照すること。 ○ 工事完成までに、京都府内産木材の産地証明書を提出すること。</p> <p>代用樹種 ※ 可(表12.2.3) (上記府内産木材の他、特記されているものは不可) ○ 不可</p>	構造材		下地材		造作材		柱 (見掛り部)	梁 (見掛り部)	(見掛り部)				※ A種	※ A種	※ 隠す	※ 隠す	※ A種	※ B種	13 屋根及びとい工事	<p>12 集材材 (12.2.1) ○ 構造用集材材</p> <table border="1"> <tr><th>使用箇所</th><th>強度等級</th><th>材面の品質</th><th>接着性能</th><th>樹種</th><th>寸法</th></tr> <tr><td></td><td></td><td>○ 1種 ※ 2種 ○ 3種</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>構造用単板積層材</p> <table border="1"> <tr><th>使用箇所</th><th>接着性能</th><th>曲げ性能</th><th>水平せん断性能</th><th>樹種名</th><th>厚さ</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>○ 造作用集材材</p> <table border="1"> <tr><th>使用箇所</th><th>見付材面の品質</th><th>樹種名</th><th>寸法</th></tr> <tr><td></td><td>※ 1等 ○ 2等</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>化粧ばり造作用集材材</p> <table border="1"> <tr><th>使用箇所</th><th>見付材面の品質</th><th>心材樹種名 (単一針葉樹)</th><th>化粧樹種名</th><th>化粧板厚</th><th>寸法</th></tr> <tr><td></td><td>※ 1等 ○ 2等</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>○ 造作用単板積層材</p> <table border="1"> <tr><th>使用箇所</th><th>材面の品質</th><th>防虫処理</th><th>厚さ</th></tr> <tr><td></td><td>※ 天然木化粧加工 ○ 塗装加工 ○ 加工しない</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>集材材の546.799"以下、579"以下(以下546.799"以下)等の放散量 JASで定める ※ F☆☆☆☆ ○ F☆☆☆ ○ ※ 非546.799"以下系接着剤使用(普通合板及び構造用合板に限る)を放散しない塗料使用(単板積層材に限る) ○</p> <p>6 床張り用合板 (12.2.1) 押入れ、物入れ等の床 普通合板 (国内産樹種表面材) 接着の程度 ※ 1類 ○ 2類 板面の品質 ※ 針葉樹 ※ C=0 ○ 広葉樹 ○ 1等 ※ 2等</p> <p>長床下地材及びフローリング張り等の下地材 構造用合板(針葉樹) 接着の程度 ※ 1類2級 板面の品質 ※ C=0 バネ(90°×15mm) 厚げ強さ・接着剤の区分 ○</p> <p>合板類の546.799"以下等の放散量 JASで定める ※ F☆☆☆☆ ○ F☆☆☆ ○ ※ 非546.799"以下系接着剤使用(普通合板及び構造用合板に限る) ○</p> <p>7 接着剤 (12.2.2) 接着剤の546.799"以下等の放散量 JISで定める ※ F☆☆☆☆ ○ F☆☆☆ ○ ※ 790g/㎡以下、790g/㎡以下(以下790g/㎡以下)を含有しない、難燃性のもとする。</p> <p>8 防湿、防蟻及び防虫処理 (12.3.1) (12.3.2) ※ 木材保存剤 (防湿、防蟻処理) は、カビ等を含有しない非揮発性とする。 ※ 木材保存剤 (防蟻、防虫処理) にクレオソールは使用しない。 ※ 処理の方法は、工場における加工とし、十分に乾燥を行う。ただし、現場における加工が生じた場合には、加工した箇所に対し、現場にて木材保存剤を塗布する。 防蟻処理 ※ 行う (範囲: ) ○ 行わない 防虫処理 ※ 行う (範囲: ラワン材等 ○ 製材の日本製林規格による保存処理 K1) ○ 行わない</p>	使用箇所	強度等級	材面の品質	接着性能	樹種	寸法			○ 1種 ※ 2種 ○ 3種				使用箇所	接着性能	曲げ性能	水平せん断性能	樹種名	厚さ							使用箇所	見付材面の品質	樹種名	寸法		※ 1等 ○ 2等			使用箇所	見付材面の品質	心材樹種名 (単一針葉樹)	化粧樹種名	化粧板厚	寸法		※ 1等 ○ 2等					使用箇所	材面の品質	防虫処理	厚さ		※ 天然木化粧加工 ○ 塗装加工 ○ 加工しない			14 金属工事	<p>1 ステンレスの表面仕上げ (14.2.1) 種別 _____ 施工箇所 (手すり、タラップ、建具以外) ※ HL程度 下記以外は見掛り全て ○ 2B程度 ○ 鏡面仕上げ</p> <p>2 アルミニウム及び亜鉛めっきの表面処理 (14.2.2) 種別 _____ 施工箇所 (手すり、成形板、窓木、建具以外) 亜鉛めっきの着色方法 ※ 二次電解着色 ○ 三次電解着色 ○</p> <p>3 鉄の亜鉛めっき (14.2.3) 表面処理方法 種別 試験 施工箇所 ○ 溶融亜鉛めっき ○ A種 ○ B種 ※ C種 ○ 行う 手すり 門扉 ○ 電気亜鉛めっき ○ D種 ○ E種 ○ F種 ○ 行う</p> <p>4 軽量鉄骨天井 (14.4.1) (14.4.4) 野縁等の種類 屋内 ※ 19型 ○ 25型 ※ 25型 天井のふところ (1.5m以上3m以下) ※ 補強有 天井のふところ (3m超える) ※ 隠すによる補強 屋外のふところ補強 ※ 有り ○ 無し 耐震性を考慮した補強 ※ 有り ○ 無し 耐風圧性を考慮した補強 ○ 有り ○ 無し</p> <p>5 軽量鉄骨壁下地 (14.5.1) スタッド、ランナー等の種類 ※ 表14.5.1における対角の高さによる区分に応じた種類 ○</p> <p>6 金属成形板張り (14.6.3) 形状 製法 厚さ 寸法 (mm) 表面処理 ○ スパンドレル形 ○ 押入れ ※ 790g/㎡製 板厚 ○ B-1種 (無着色) ○ ロール ○ A-2種 (着色) ○ 行う 板幅 ○ B-2種 (着色) ○ パネル形 ※ プレス ○ C-1種 (無着色) ○ C-2種 (着色) ○ D種</p> <p>伸縮調整継手 ※ 設けない ○ 設ける (施工箇所は図示)</p> <p>7 アルミニウム製 窓木 (14.7.2) (14.7.3) 種類 板厚 (mm) 表面処理 固定間隔 ○ 250形 1.5 ○ A-1種 (無着色) ※ 1.3 m程度 ※ 押入れ材 ○ 曲り材 ○ 300形 1.8 ○ A-2種 (着色) ○ 隅部及び突当たり部等の役 ○ 350形 2.0 ○ B-1種 (無着色) 物は本体製造所の仕様による。 ○ B-2種 (着色) ※ 建築基準法に基づき定まる風圧力・積雪荷重に対応した工法を品質計画により定める。</p> <p>8 手すり (14.8.2) 材料及び表面処理 施工箇所 ※ ステンレス製SUS304 ※ HL程度 ○ 鏡面程度 ○ 亜鉛めっき 外部 ※ C種 内部 ※ E種 ○ アルミニウム製 ※ B-1 ○</p> <p>9 タラップ及び丸階段 (14.8.3) 材種 ※ ステンレス製SUS304 (表面処理2D程度) ○</p> <p>10 天井点検口 ※ アルミニウム製既製品 (450×450) ( ) 箇所 ○ アルミニウム製既製品 (600×600) ( ) 箇所</p> <p>11 床点検口 ○ アルミニウム製既製品 (600×600) ( ) 箇所 ○ ステンレス製既製品 (600×600) ( ) 箇所 ○ 鋳鉄製マンホール蓋 ( ) 型 ( ) φ ( ) 箇所</p> <p>12 屋上点検口 寸法 (mm) ○ φ600 ○ 500角 断熱材 ○ 有り ○ 無し</p>
	種別	別	防水層	施工箇所																																																																																																																																																																																																												
○ 保護防水	○ A-1	○ A-2	表9.2.3																																																																																																																																																																																																													
	○ A1-1	○ A1-2	表9.2.4																																																																																																																																																																																																													
○ 露出防水	○ B-1	○ B-2	表9.2.5																																																																																																																																																																																																													
	○ B1-1	※ B1-2	表9.2.6																																																																																																																																																																																																													
○ 屋内防水	※ D-1	○ D-2	表9.2.7																																																																																																																																																																																																													
○ 屋内防水	※ E-1	○ E-2	表9.2.8																																																																																																																																																																																																													
種別	施工箇所	種類及び厚さ	仕上塗料																																																																																																																																																																																																													
○ AS-1		※ 9.3.2 (a)による	○ カラー																																																																																																																																																																																																													
○ AS-2			○ シルバー																																																																																																																																																																																																													
種別	厚さ (mm)	施工箇所	仕上塗料																																																																																																																																																																																																													
○ S-F1	※ 1.5		○ カラー																																																																																																																																																																																																													
○ S-F2	※ 2.0		○ シルバー																																																																																																																																																																																																													
○ S-M1	※ 1.5		○																																																																																																																																																																																																													
○ S-M2	※ 1.5		○ (露出の場合)																																																																																																																																																																																																													
○ S-M3	※ 1.2		○																																																																																																																																																																																																													
種別	施工箇所	仕上塗料																																																																																																																																																																																																														
○ T-1		○ カラー																																																																																																																																																																																																														
○ T-2		○ シルバー																																																																																																																																																																																																														
○ T-1	地下外壁防水	○ カラー																																																																																																																																																																																																														
○ T-2	屋内防水	○ シルバー																																																																																																																																																																																																														
施工箇所	種類 (産地、名物)	表面仕上げの種類																																																																																																																																																																																																														
施工箇所及びタイルの種類	形状寸法(mm)	生地	釉薬	役物	色	耐凍害性	工法																																																																																																																																																																																																									
○ 壁面	○ 正方形	○ 磁器	○ 無釉	○ 有り	※ 標準	○ 有り	○																																																																																																																																																																																																									
		○ 陶器	○ 無釉	○ 無し	○ 特注	○ 無し																																																																																																																																																																																																										
		○ 陶器	○ 無釉	○ 無し	○ 特注	○ 無し																																																																																																																																																																																																										
○ 床面	○ 正方形	○ 磁器	○ 無釉	○ 有り	※ 標準	○ 有り	○																																																																																																																																																																																																									
		○ 陶器	○ 無釉	○ 無し	○ 特注	○ 無し																																																																																																																																																																																																										
		○ 陶器	○ 無釉	○ 無し	○ 特注	○ 無し																																																																																																																																																																																																										
構造材		下地材		造作材																																																																																																																																																																																																												
柱 (見掛り部)	梁 (見掛り部)	(見掛り部)																																																																																																																																																																																																														
※ A種	※ A種	※ 隠す	※ 隠す	※ A種	※ B種																																																																																																																																																																																																											
使用箇所	強度等級	材面の品質	接着性能	樹種	寸法																																																																																																																																																																																																											
		○ 1種 ※ 2種 ○ 3種																																																																																																																																																																																																														
使用箇所	接着性能	曲げ性能	水平せん断性能	樹種名	厚さ																																																																																																																																																																																																											
使用箇所	見付材面の品質	樹種名	寸法																																																																																																																																																																																																													
	※ 1等 ○ 2等																																																																																																																																																																																																															
使用箇所	見付材面の品質	心材樹種名 (単一針葉樹)	化粧樹種名	化粧板厚	寸法																																																																																																																																																																																																											
	※ 1等 ○ 2等																																																																																																																																																																																																															
使用箇所	材面の品質	防虫処理	厚さ																																																																																																																																																																																																													
	※ 天然木化粧加工 ○ 塗装加工 ○ 加工しない																																																																																																																																																																																																															
<p>2 改質アスファルトシート防水 (9.3.2)</p> <p>3 合成高分子系ルーフィングシート防水 (9.4.2) (9.4.4)</p> <p>4 塗膜防水 (9.5.3)</p> <p>5 漏水試験</p> <p>6 保証書</p> <p>7 シーリング (9.7.2)</p> <p>8 目地寸法 (9.7.3)</p> <p>9 シーリングの試験 (9.7.5)</p> <p>10 止水板</p>	<p>1 天然石張り (10.2.1)</p> <p>2 テラゾ張り (10.2.1)</p> <p>3 壁の石張り工法 (10.3.3)</p> <p>4 床及び階段の石張り (10.6.2) (10.6.3)</p> <p>1 伸縮調整目地等 (11.1.3)</p> <p>2 施工後の確認及び試験 (11.1.5)</p> <p>3 陶磁器質タイル張り (11.2.1)</p> <p>4 張付け用材料 (11.2.3)</p> <p>1 表面仕上げ (12.1.4)</p> <p>2 木材の含水率 (12.2.1)</p> <p>3 木材の品質 (12.2.1)</p> <p>4 樹種 (12.2.1)</p>	<p>12 集材材 (12.2.1)</p> <p>6 床張り用合板 (12.2.1)</p> <p>7 接着剤 (12.2.2)</p> <p>8 防湿、防蟻及び防虫処理 (12.3.1) (12.3.2)</p> <p>1 性能</p> <p>2 長尺金属板葺</p> <p>3 折板葺</p> <p>4 粘土瓦葺</p>	<p>14 金属工事</p> <p>1 ステンレスの表面仕上げ (14.2.1)</p> <p>2 アルミニウム及び亜鉛めっきの表面処理 (14.2.2)</p> <p>3 鉄の亜鉛めっき (14.2.3)</p> <p>4 軽量鉄骨天井 (14.4.1) (14.4.4)</p> <p>5 軽量鉄骨壁下地 (14.5.1)</p> <p>6 金属成形板張り (14.6.3)</p> <p>7 アルミニウム製</p> <p>8 手すり (14.8.2)</p> <p>9 タラップ及び丸階段 (14.8.3)</p> <p>10 天井点検口</p> <p>11 床点検口</p> <p>12 屋上点検口</p>																																																																																																																																																																																																													

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項
15 モルタル塗り (15.2.2)～(15.2.5) ② 柱コンクリート直均し 仕上 (15.3.1) セルフベリング 材塗り (15.4.2) 4 仕上塗材仕上 (15.5.2)	既製目地材 ○ 適用する 形状 ) 床の目地 ○ 設ける 工法 ※ 標出(5.2.6.0)(3)による ○ ) 塗り物、敷物、張り物等の下地への適用 ○ 適用する (適用床仕上げ、範囲 ) ※ 種類及び品質は表(5.4.1)による ○ 石こう系 ○ セメント系 厚さ (mm) ※ 10 ○ 15 ○ 厚付け仕上塗材 (表(5.5.1)) 種 類 (呼び名) 仕 上 げ 工 法 備 考 ○ 外装薄塗材S1 ○ 砂壁状 ○ ゆず肌状 吹付け ○ ゆず肌状 ○ さざ波状 ローラー ○ 可とう型外装薄塗材S1 ○ 砂壁状 ○ ゆず肌状 吹付け ○ ゆず肌状 ○ さざ波状 ローラー ○ 外装薄塗材E ○ 砂壁状 ○ ゆず肌状 吹付け ○ 平たん状 ○ 凹凸状 こて塗 ○ ゆず肌状 ○ さざ波状 ローラー ○ 着色骨材砂壁状 ○ 吹付け ○ こて塗 ○ 可とう型外装薄塗材E ○ 砂壁状 ○ ゆず肌状 吹付け ○ 平たん状 ○ 凹凸状 こて塗 ○ ゆず肌状 ○ さざ波状 ローラー ○ 防水形外装薄塗材E (○ 増塗材) ○ 砂壁状 ○ さざ波状 吹付け ○ 凹凸状 ○ 外装薄塗材S 砂壁状 吹付け ○ 内装薄塗材C ○ 凹凸状 吹付け ○ 内装薄塗材L ○ 平たん状 ○ 凹凸状 こて塗 ○ ゆず肌状 ○ さざ波状 ローラー ○ 内装薄塗材S1 ○ 砂壁状じゅらく ○ 砂壁状じゅらく ○ ゆず肌状 吹付け ○ 内装薄塗材E ○ 平たん状 ○ 凹凸状 こて塗 ○ ゆず肌状 ○ さざ波状 ローラー ○ 内装薄塗材W ○ 京壁状じゅらく ○ ゆず肌状 吹付け ○ 平たん状 ○ 凹凸状 こて塗 ○ 厚付け仕上塗材 (表(5.5.1)) 種 類 (呼び名) 仕 上 げ 工 法 備 考 ○ 外装厚塗材C ○ 吹放し ○ 凸部処理 吹付け ○ 平たん状 ○ 凹凸状 こて塗 (○ 上塗材) ○ ひき起し ○ かき落とし ○ 外装厚塗材S1 ○ 吹放し ○ 凸部処理 吹付け ○ 外装厚塗材E ○ 平たん状 ○ 凹凸状 ○ こて塗 (○ 上塗材) ○ ひき起し ○ ローラー ○ 内装厚塗材C ○ 吹放し ○ 凸部処理 吹付け ○ 平たん状 ○ 凹凸状 こて塗 ○ ひき起し ○ かき落とし ○ 内装厚塗材L ○ 平たん状 ○ 凹凸状 こて塗 ○ ひき起し ○ かき落とし ○ 内装厚塗材G ○ 平たん状 ○ 凹凸状 こて塗 ○ ひき起し ○ かき落とし ○ 内装厚塗材S1 ○ 吹放し ○ 凸部処理 吹付け ○ 内装厚塗材E ○ 平たん状 ○ 凹凸状 ○ こて塗 ○ ひき起し ○ ローラー ○ 複層仕上塗材 (表(5.5.1)) 種 類 (呼び名) 仕 上 げ 工 法 備 考 ○ 複層塗材C E ○ 凸部処理 吹付け ○ 複層塗材S1 ○ 凹凸模様 ○ 複層塗材E ○ ゆず肌状 ローラー ○ 複層塗材R E ○ 平たん状 ○ 凹凸状 こて塗 ○ 可とう型複層塗材C E ○ 凸部処理 ○ 凹凸模様 吹付け ○ ゆず肌状 ローラー ○ 複層塗材R S ○ 凸部処理 ○ 凹凸模様 吹付け ○ ゆず肌状 ローラー ○ 防水形複層塗材C E ○ 凸部処理 吹付け ○ 防水形複層塗材E ○ 凹凸模様 ○ 防水形複層塗材R E ○ ゆず肌状 ローラー ○ 軽量骨材仕上塗材 (表(5.5.1)) 種 類 (呼び名) 仕 上 げ 工 法 備 考 ○ 吹付用軽量塗材 砂壁状 吹付け ○ こて塗用軽量塗材 平たん状 こて塗 仕上塗材を内装に使用する場合、ホルムアルデヒド等の放散量 JISで定める ※ F☆☆☆☆ ○ 大臣認定品 ○	15 5 仕上塗材の下地 処理 (15.5.4) 6 ロックウール 吹付け (15.8.2) ① 性能 ※ 本特記仕様書「1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。 2 見本の製作等 (16.1.4) 3 防犯建物部品 (16.1.6) ④ アルミニウム製 建具 (16.2.2)～(16.2.4) 5 網戸 (16.2.3) 6 鋼製建具 (16.3.2) (16.3.4) 7 鋼製軽量建具 (16.5.2) (16.5.4) 8 ステンレス製建具 (16.6.2) (16.6.3) (16.6.4) 9 木製建具 (16.7.2)	A1.Cパネルの内壁目地部の形状 ※ V型目地付き ○ 吹付け厚さ (mm) 施 工 箇 所 ※仕上表による コック等のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ○ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ○ ※ 本特記仕様書「1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。 建具見本の製作 ○ 行う (建具番号 ) 特殊な建具の取組 ○ 行う (建具番号 ) 開口部の遮断防止対策上有効な措置が講じられた「防犯建物部品」を適用する箇所 ドア 適用箇所 < > サッシ 適用箇所 < > シャッター 適用箇所 < > 外部に面するアルミニウム製建具の性能等級 (表(6.2.1)) 性能等級 ※ A種 ○ B種 ○ C種 耐風圧性 ※ S-4 ○ ※ S-5 ○ ※ S-6 ○ 気密性 ※ A-3 ○ ※ A-4 ○ 水密性 ※ W-4 ○ ※ W-5 ○ 検見込み (mm) ※ 70 ○ 100 ※ 100 ○ 表面処理 (表(4.2.1)) 種 別 施 工 箇 所 ※ B-1種 (無着色) ○ B-2種 (着色) ○ ○ ○ ○ 防音ドアセット、防音サッシの適用 (遮音性の等級 ) ○ 断熱ドアセット、断熱サッシの適用 (断熱性の等級 ) ○ 耐震ドアセットの適用 (面内変形追従性の等級 ) 防虫網 網の種類 ※ 合成樹脂製 ○ ガラス繊維入り合成樹脂製 ○ ステンレス製 (SUS316) 形 式 ※ 外部可動式 ○ 固定式 網径、網目 ※ 0.25mm以上、16～18メッシュ ○ 外部に面する建具の耐風圧性 ○ S-4 ○ S-5 ○ S-6 (表(6.2.1)) 簡易気密部の気密性、水密性 ※ 適用する ○ 適用しない (表(6.3.1)) ○ 防音ドアセット、防音サッシの適用 (遮音性の等級 ) ○ 断熱ドアセット、断熱サッシの適用 (断熱性の等級 ) ○ 耐震ドアセットの適用 (面内変形追従性の等級 ) JISただし書き建具の寸法許容差 (これ以外は標出による) ※ 製造標準製作規定寸法許容差による 簡易気密部の性能値 ※ 適用する (A-3) ○ 適用しない ○ 防音ドアセット、防音サッシの適用 (遮音性の等級 ) ○ 断熱ドアセット、断熱サッシの適用 (断熱性の等級 ) ○ 耐震ドアセットの適用 (面内変形追従性の等級 ) 外部に面する建具の耐風圧性 ○ S-4 ○ S-5 ○ S-6 (表(6.2.1)) 簡易気密部の気密性、水密性 ※ 適用する ○ 適用しない (表(6.3.1)) ○ 防音ドアセット、防音サッシの適用 (遮音性の等級 ) ○ 断熱ドアセット、断熱サッシの適用 (断熱性の等級 ) ○ 耐震ドアセットの適用 (面内変形追従性の等級 ) ステンレス鋼板 ※ JIS G 4305 ステンレス鋼板 (屋外) ※ SUS304 ○ SUS430H1L ステンレス鋼板 (屋内) ※ SUS304 ○ SUS430H1L ○ SUS430 JISただし書き建具の寸法許容差 (これ以外は標出による) ※ 製造標準製作規定寸法許容差による 表面仕上げ ※ H.L仕上げ ○ 鏡面仕上げ 曲げ加工 ※ 普通曲げ ○ 角出し曲げ 建具材の含水率の種別 ○ A種 ※ B種 ○ C種 代用網種の適用 ※ 可 ○ 不可 合板、ミディアムデンシティファイバーボード (MDF)及びパーティクルボード等の 8467ppm以下の放散量 JIS又はJASで定める ※ F☆☆☆☆ ○ 製作に使用する接着剤のホルムアルデヒド等の放散量 JISで定める ※ F☆☆☆☆ ○ 大臣認定品 ○	16 10 建具用金物 (16.9.2)～(16.9.4) 11 自動ドア開閉装置 (16.9.2)～(16.9.4) 12 自閉式上吊り 引戸装置 (16.10.3) 13 重量シャッター (16.11.2)～(16.11.4) ④ 軽量シャッター (16.12.2) (16.12.4) 15 オーバーヘッド ドア (16.13.2)～(16.13.4) ④ ガラス (16.14.2) ④ ガラス留め材 (16.14.2) 18 ガラスブロック (16.14.5) 19 ポリカーボネイト 樹脂板	マスターキーの製作 ※ 作成する (グループ、各グループ 個) ○ 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる シャッター用金物 ※ ガラス ○ アルミ ○ 黄銅 シリンダー箱錠 ※ ガラス ○ 本錠り錠 ※ ガラス ○ タレ錠 ※ 亜鉛合金 ○ ガラス 閉鎖調整器 ※ 鋼製 ○ ガラス アスリッパ ○ ガラス ※ 鋼板付 フック等 ※ スチール ○ 戸当り ○ 亜鉛合金 ※ ガラス 引き手 ※ スチール ○ 亜鉛合金又は黄銅製の物は、塗装仕上げ又はクロムめっきを行う 開 閉 方 法 セ ン サ の 種 類 そ の 他 ※ スライディングドア ※ 光線スイッチ 補助センサを併用する ○ ○ ○ 性能値等の区分 (表(6.10.1)) 適用戸の総質量(kg) ○ 40以下 ○ 40を超えるもの 手動開き力(N) ※ 15以下 ○ ※ 20以下 ○ 手動閉じ力(N) ※ 15以下 ○ ※ 20以下 ○ 性能等 品質・規格 種 別 ○ 一般重量シャッター (シャッターS)設ける 耐風圧強度 ( ) ○ 外壁用防火シャッター(シャッターS)設ける 耐風圧強度 ( ) ○ 屋内用防火シャッター(シャッターS)設ける ○ 屋内用防塵シャッター(シャッターS)設ける 開閉方式 ※ 上部電動式 (手動併用) ○ 上部手動式 (電動式シャッターには保護装置を設ける。) 鋼板の厚さは 表(6.11)による 開閉方式 ○ 上部電動式 (手動併用) ※ 手動式 耐風圧強度 ( ) (電動式シャッターには保護装置を設ける。) スラットの材質 ※ 塗装済亜鉛めっき鋼板 ○ スラットの板厚 ※ 0.8 ○ 1.0 スラットの形状 ※ インターロック型 ○ トレーピング型 鋼板の厚さは 表(6.12)による セクション材 ※ スチールタイプ ○ アルミニウムタイプ ○ ファイバーグラスタイプ 開閉方式 ※ バランス式 ○ チューン式 ○ 電動式 (電動式には保護装置を設ける。) 収納形式 ※ スタンダード型 ○ ローヘッド型 ○ ○ ハイリフト型 ○ パーチカル型 ガイドレール等 ※ 溶接亜鉛めっき鋼板 ○ ステンレス製SUS304 鋼板の厚さは 表(6.13.1)による 種 別 種類及び厚さによる種別 種 別 種類及び厚さによる種別 ○ フォームガラス ○ 熱線吸収ガラス ● 型板ガラス t=3.0 ○ 複層ガラス ○ 網入板ガラス ○ 熱線反射ガラス ○ 合わせガラス ○ 倍強度ガラス ○ 強化ガラス ○ 建 具 の 種 別 材 質 アルミニウム製 ※ シーリング材(SI-1) ○ ガスケット 鋼製・軽量鋼製・ステンレス製 ※ シーリング材(SI-1) ○ パテ ※ 1種 ○ 2種 木製 ※ パテ (木製用) ○ ※ 防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づき防火性能認定品とする。 ※ 防音仕様、断熱仕様及び耐震仕様については図示による。 ※ 出入口のくつぎりにステンレスを使用する場合は図示による。 寸 法 (mm) 厚 さ (mm) 色 調 パターン 防火認定 ○ ○ クリア ○ カラー ( ) ※ なし ○ 図示 ○ 乳白 ○ 熱線反射 ※ あり ※ 品質規格はJIS A5212 による ※ 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定める。 ○ 金属製化粧カバー 材質 ※ SUS304 . 寸法・形状 ※ 図示による 種類 厚さ (mm)	17 1 性能 (17.1.3) 2 メタルカーテン ウォール (17.2.2)～(17.2.3) 3 PCカーテン (17.1.3) (17.3.2)～(17.3.3) 4 シーリング材及び ガラス取付材料 5 構造用ガラスケット (17.2.2) (17.3.2) 18 2 塗装材料 (18.1.3) 3 素地ごしらえ (18.2.2)～(18.2.7) 4 錆止め塗料塗り (18.3.2) (18.3.3) 5 塗装工程 (18.4.1)～(18.13.2) 6 マスチック塗料 塗り (18.14.2)	※ 本特記仕様書「1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。 耐風圧性 ○ S4 ○ S5 ○ S6 ○ ○ 耐震性 水平方向(W) ※ 1.0 ○ 鉛直方向(W) ※ 0.5 ○ 水密性 ○ W1 ○ W2 ○ W3 ○ W4 ○ W5 気密性 ○ A1 ○ A2 ○ A3 ○ A4 ○ 耐火性 ※ 図示 ○ 20分 ○ 1時間 ○ 耐温度変化(℃) ○ 80 ○ 70 ○ 60 ○ 遮音性 ○ T1 ○ T2 ○ T3 ○ T4 ○ 断熱性 ○ H1 ○ H2 ○ H3 ○ H4 ○ H5 材料 ※ 鋼製 ○ 形状・寸法 ※ 図示による 断熱材 ※ 図示による 見え隠り仕上げ ※ A-1種(無着色) ○ A-2種(着色) 耐風圧性 耐震性 水密性 気密性 耐火性 形状・仕上げ 材料 取付 ガラスの取付 コンクリート ○ 種類 ○ 品質 ※ (表(9.7.1)) による ○ (0.7.2)(1.3.2) 形状 ※ 図示による ○ 寸法 ※ 図示による ○ 塗装業者 ○ 日本塗装工業会の会員 ○ 監督職員の承認する塗装業者 塗料のホルムアルデヒド等の放散量 JISで定める ※ F☆☆☆☆ ○ F☆☆☆☆ ○ 塗料のトルエン、キシレン、有機溶剤 ※ 含有量の少ない規格品 (表(8.2.1)～(表(8.2.7)) 素 地 種 別 備 考 木部 ※ A種 ○ B種 透明塗料(無着色)による 鉄鋼面 ○ A種 ○ B種 ※ C種 無着色塗料による 亜鉛めっき面 ○ A種 ○ B種 ○ C種 無着色塗料による モルタル及び石膏スター面 ○ A種 ※ B種 ○ C種 無着色塗料による コンクリート及びコンクリート面 ○ A種 ※ B種 ○ C種 無着色塗料による 石こうボード及びその他ボード面 ○ A種 ※ B種 ○ C種 無着色塗料による 錆止めの塗料の種類 (表(8.3.1)～(表(8.3.4)) 塗面 種別 内外 区内 規格名称 塗料種類 塗装工程種別 備考 鉄鋼 A種 ※ ※ 2種 鉄鋼面 見掛け部分 B種 ○ ○ 鉛、カドミウム止め 1種 ※ A種 ○ B種 見掛け部分 面 B種 ○ ○ 亜鉛、カドミウム止め 2種 ○ A種 ※ B種 屋内P-G塗 亜鉛 A種 ※ ※ 鉛、カドミウム止め 鋼製建具等 メッキ B種 ○ ○ 亜鉛、カドミウム止め ※ A種 ○ B種 面 C種 ○ ○ 水系塗料による 1種 その他 ※ C種 屋内P-G塗 工程の種類 (表(8.4.1)～(表(8.13.1)) 記 号 名 称 種 別 SOP 合成樹脂調合ペイント塗り 木部 屋内 ○ A種 ※ B種 屋内 ○ A種 ○ B種 鉄鋼面 ○ A種 ※ B種 CL グラスシャッター塗り ○ A種 ※ B種 NAD 有機樹脂系非水分散型塗料塗り ○ A種 ※ B種 DP 断熱性塗料塗り ○ A種 ○ B種 ○ C種 上塗り ○ 1級 有機樹脂系等 ○ 2級 シリコン系等 ※ 3級 エポキシ系等 E-P-G つや有合成樹脂エポキシ樹脂塗り ○ A種 ※ B種 E-P 合成樹脂エポキシ樹脂塗り ○ A種 ※ B種 E-P-T 合成樹脂エポキシ樹脂塗料塗り ○ A種 ※ B種 UC クラタン樹脂ワニス塗り ○ A種 ※ B種 OS オイルステイン塗り WP 木材保護塗料塗り ○ A種 ※ B種 仕 上 塗 り の 種 別 ○ A種 ※ つや有合成樹脂エポキシ樹脂ペンタート ※ B種 ○ 保証年限 ※ 7年 (鉄面を除く) . 3年 (鉄面) ○ 年 ※ 受注者と塗装施工業者又は事業協同組合の連名による保証書を出すこと。

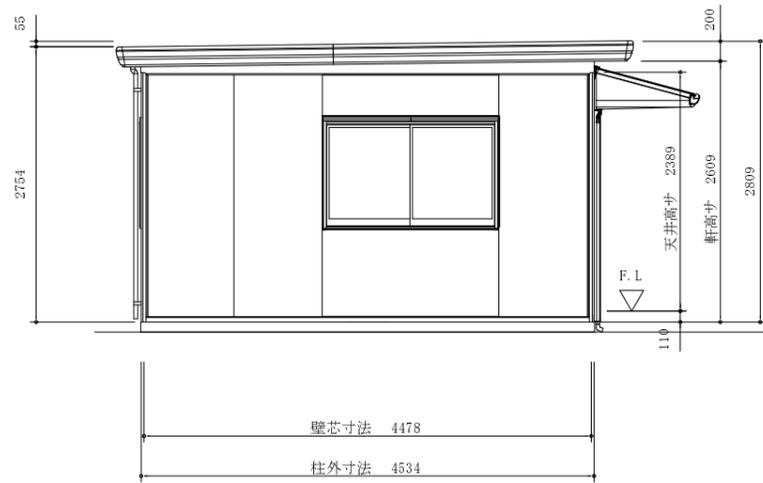
章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項				
ユニット及びその他の工事	21 洗面カウンター	材種 ○メラミン樹脂化粧板要り(芯材:集成材) ○人工大理石(品質 図示) 奥行き(mm) ○約450 ○約600 ○	排水工事	21 ①排水管 (21.2.1) (21.2.3)	材種(表21.2.1) 管の種類 接合方法 ○ 遠心力樹脂コンクリート管 ※ 外径管(※ 1種 ○ 2種) ○ モルタル ○ ゴム輪 ○ 硬質塩化ビニル管 ○ VP ※ VU ※ 接着 ○ ゴム輪 ○ RS-VP ○ RS-VU ○ 硬質塩化ビニル継手 ○ DV ※ VU継手	舗装工事	22 6 透水性舗装 (22.7.3) ~ (22.7.6)	アスファルト 車道部 ※ 改良70%以上1型 ○ 歩道部 ※ ストレートアスファルト ○ フィルタ層の厚さ ※ 車道部150mm、歩道部50mm ○ 透水性アスファルト混合物の抽出試験 ○ 行う ※ 行わない 舗装厚さの試験 ※ 行う ○ 行わない	植栽及び屋上緑化工事	23 6 屋上緑化 (23.5.3)	○ 屋上緑化シフト 排水層 ※ 軽量骨材 厚さ ( ) ○ 板状成形品 土壌層 ※ 改良土 厚さ ( ) ○ 人工軽量土 厚さ ( ) ○ 屋上緑化軽量シフト 見附材 ○ ( ) 舗装材 ○ ( ) 水抜き管 ○ ( ) ヴァンナ材 ○ ( ) 樹木の種類、寸法、数量等 ※ 図示による ○ 下表による				
	22 流し台ユニット	種別 部品寸法(mm) 規格 仕様 ○ 流し台 ○ 優良住宅部品 トラップ付き ○ コンロ台 ○ 優良住宅部品 バックガード有 ○ 吊戸棚 ○ 優良住宅部品 高さ 約500mm ○ 水切り棚 ○ 優良住宅部品 ステンレス製1段式		② 埋地、排水料及ふた (21.2.2)	○ 側地の形状および寸法 ※ 図示 ○ ( ) ○ 排水材の種類 ※ 図示 ○ ( ) ○ 鋼鉄製マンホールふたの種類 種別 適用荷重(安全荷重) ○ 水封形 ○ 密閉形(フーパバルド) ○ T-2用(50KN) ○ T-6用(115KN) ○ 中蓋付密閉形 ○ 簡易密閉形(バックス) ○ T-20用(50KN)		7 排水材舗装 (22.8.3) ~ (22.8.6)	アスファルト ○ 改良70%以上1型 ※ 改良アスファルトII型 アスファルト混合物の抽出試験 ○ 行う ※ 行わない 舗装厚さの試験 ※ 行う ○ 行わない		樹木の種類、寸法、数量等 ※ 図示による ○ 下表による					
	23 非常用救助袋	※ 垂直降下式緩下種は 閉鎖法に基づく国家検定に合格したものである。 形式 ○ 傾斜式 ○ 垂直式 品質・規格		3 コンクリート側溝 (22.9.2)	鉄筋コンクリートL形のJISによる呼び名 ○ 250A ※ 250B ○ コンクリートL形のJISによる呼び名 ○ 250A ※ 250B ○ 鉄筋コンクリートU形のJISによる呼び名 ○ 240 ○ 300A ○ 360A ○ 現場打ちコンクリートの設計基準強度 Fc(N/mm <sup>2</sup> ) ○ 18 ○ 地業の材料 標仕(6.2(a)) ○ C-40 ※ RC-40		8 ブロック系舗装 (22.9.3)	○ コンクリート平板舗装 種別 寸法(mm) 厚さ(mm) 目地 ※ 普通平板(N) ○ カラー平板(O) ※ 300角 ※ 60 ※ 砂 ○ 洗出平板(N) ○ 掘石(S) ○ ○ ○ ○ モルタル 品質・規格		芝・地盤の種類 ※ 図示による ○ こうらい芝 (※ 目地張り ○ ) ○ 野芝 (※ 目地張り ○ ) ○ セダム類 (○ カット ○ ふるい ○ プラグ ○ ) かん水装置 ○ 設置する ( ) ○ 設置しない 支柱材 (23.3.2)による					
	24 鍵箱	市販品 形式 ※ 約下式 ○ 差込式 (○ 30 ○ 60 ○ 120 ○ ) 組立 ( ) 個		22 路床 (22.2.3) (22.2.5)	盛土に用いる材料 ○ A種 ※ B種 ○ C種 ○ D種 (表3.2.1) 路床安定処理用材料 ※ 添加材料による安定処理 (表22.2.2) 種別 ○ 地盤改良材 ( ) ○ 高圧の土 ○ 普通ポルトランドセメント ○ 生石灰 特号 ○ 生石灰 1号 ○ フライアッシュセメントB種 ○ 消石灰 特号 ○ 消石灰 1号 添加量 (kg/m <sup>3</sup> ) 路床土の支持力比(CBR)試験 ○ 行う (※ 乱した土 ○ 乱さない土 ) 路床締固め度の試験 ○ 行う ○ 行わない 砂の粒状試験 ○ 行う ○ 行わない		9 緑石 (21.4.2)	歩道境界ブロックのJISによる呼び名 ※ A ○ 地先境界ブロックのJISによる呼び名 ○ A ○ C ○ 砂利地業の厚さ ※ 100mm ○		2 路盤 (22.3.3) (22.3.5)	材料 ※ 再生クラッシュラン (RC-10) ○ クラッシュラン (C-10) ○ 砕石鉄鋼屑 (CS-10) 路盤締固め度の試験 ○ 行う	10 砂利散き (22.10.2) (22.10.3)	道路 ※ A種 ○ B種 建物周囲その他 ○ A種 ※ B種 ※ 下敷きの使用材料は再生クラッシュランとする	11 白線引き	種別 ○ 溶融式 ○ ペイント式 幅(mm) ○ 15 ○
	25 定礎	定礎石 ○ 御影石 文字掘込共 寸法 450×600×30 ○ 定礎板 ○ 鋼板製 両面文字掘込共 寸法B4版 厚さ5mm ○ 定礎箱 ○ 鋼板製 寸法 400×300×60 ○		3 アスファルト舗装 (22.4.2) ~ (22.4.6)	舗装の種類 車道部基層 カラー舗装の種類 ※ アスファルト舗装 ※ 再生アスファルト ※ ストレートアスファルト アスファルト ※ 再生アスファルト ○ ストレートアスファルト		23 1 植栽基礎整備 (23.2.2) (23.2.3)	※ 行う 樹木の樹高 有容土層の厚さ(mm) 工法 整備範囲 12m以上 ※ 60 ○ 120 ○ 140 ※ A種 ※ 植込み部分 7~12m未満 ※ 80 ○ 100 ※ B種 ○ 葉張りの範囲 3~7m未満 ※ 60 ○ 80 ○ C種 ○ 樹高7m以上) 3m未満 ※ 50 ○ 60 ○ D種 ○ 図示 芝・地盤類 ※ 20 ※ B種 ○ ※ 植栽範囲 ○		3 アスファルト舗装 (22.4.2) ~ (22.4.6)	再生加熱アスファルト混合物の種類 区分 ○ 一般地域 ○ 寒冷地域 表面 ※ 密粒度アスファルト混合物 (1) ※ 密粒度アスファルト混合物 (13F) ○ 細粒度アスファルト混合物 (13) ○ 細粒度アスファルト混合物 (13F) 基層 ※ 粗粒度アスファルト混合物 (20)	2 樹木の種類等 (23.3.2)	樹木の種類、寸法、数量等 ※ 図示による ○ 下表による 種別 寸法 数量 備考		
	26 旗竿受金物	材種 ※ ステンレス鋼 (SUS304) (市販品 ※ 1箇所 ○ 箇所) 品質・規格		4 コンクリート舗装 (22.5.2) ~ (22.5.6)	シールコート ※ 行わない ○ 行う (施工範囲) アスファルト混合物の抽出試験 ○ 行う ※ 行わない アスファルト締固め度、厚さの試験 ※ 行う ○ 行わない		3 支柱材、幹巻き用材料 (23.3.2)	支柱材 ※ 杉(縦き丸太) ○ 竹 ○ ひのき ○ から松(縦き) 形式 ※ 図示 ○ 防腐処理方法 ※ 加圧式防腐処理丸太 ○ 幹巻き材料 ※ 幹巻き用テープ ○ わら及びこも		26 旗竿受金物	材種 ※ ステンレス鋼 (SUS304) (市販品 ※ 1箇所 ○ 箇所) 品質・規格	5 カラー塗装 (22.6.3) ~ (22.6.6)	5 新植、移植樹木、芝等の枯補償 (23.3.2) ~ (23.3.6)	※ 引渡しの日から1年 ○ 引渡しの日から 年 (23.3.2) ~ (23.3.6)	
	27 旗ポール	材質 形式 地上高さ(m) 操作方法 固定方法 ※ アルミニウム合金 ※ テーパー型 ○ 6' ○ 10' ※ ハンドル式 ○ 埋込式 ○ ○ 同一断面型 ○ 8' ○ ○ ロープ式 ○ ベース式 品質・規格		5 カラー塗装 (22.6.3) ~ (22.6.6)	種別 部位 配合その他 ※ 加熱系70%以上混合物 ○ 車道部 添加剤 ○ 着色骨材 ○ 自然石 ○ 歩道部 結合材 ○ アスファルト ○ 石油樹脂(添加量) 70%以上混合物等の抽出試験 ○ 適用する ※ 適用しない 車道部の基層 ○ 適用する ※ 適用しない		4 芝 (23.4.2) (23.4.3) (23.2.3)	種別 芝張りの工法 客土 ○ こうらい芝 ※ 目地張り ※ ベタ張り ※ 筋芝張り ○ 行う ※ 畑土 ○ 野芝 ○ ○ ○ ○ 黒土		27 旗ポール	材質 形式 地上高さ(m) 操作方法 固定方法 ※ アルミニウム合金 ※ テーパー型 ○ 6' ○ 10' ※ ハンドル式 ○ 埋込式 ○ ○ 同一断面型 ○ 8' ○ ○ ロープ式 ○ ベース式 品質・規格	5 カラー塗装 (22.6.3) ~ (22.6.6)	5 新植、移植樹木、芝等の枯補償 (23.3.2) ~ (23.3.6)	※ 引渡しの日から1年 ○ 引渡しの日から 年 (23.3.2) ~ (23.3.6)	
	28 煙突ライニング (20.2.11)	煙突用成形ライニング材及びキャスタブル樹脂材 最高温度 ※ 400℃ ○ 650℃ 品質・規格		5 カラー塗装 (22.6.3) ~ (22.6.6)	種別 厚さ(mm) 工法 規格品 ※ 小継ぎ(花崗岩) ※ 80~100 ※ うねこ張り ※ 2等品 ○ ○ ○ ○		5 新植、移植樹木、芝等の枯補償 (23.3.2) ~ (23.3.6)	※ 引渡しの日から1年 ○ 引渡しの日から 年 (23.3.2) ~ (23.3.6)							
	29 間知石及びコンクリート間知ブロック (20.4.2) (20.4.3)	間知石の材種 ※ 花こう岩 ○ コンクリート間知ブロック 面の形状 ○ 長方形 ○ 正方形 ○ 六角形 ○ H型 質量区分 ○ ブロックA ○ ブロックB 地業の材料 ※ 再生クラッシュラン ○ 締固めの工法 ○ 空積み ○ 布積み (目塗り ○ 行う) 伸縮目地材の材種、厚さ		5 カラー塗装 (22.6.3) ~ (22.6.6)	基礎 無筋コンクリート造 350×350 H250程度		5 新植、移植樹木、芝等の枯補償 (23.3.2) ~ (23.3.6)	※ 引渡しの日から1年 ○ 引渡しの日から 年 (23.3.2) ~ (23.3.6)							
	30 敷地境界石標	種別 ○ 花こう石類(文字記入入り) ※ コルメータ製(市販品)		5 カラー塗装 (22.6.3) ~ (22.6.6)	基礎 無筋コンクリート造 350×350 H250程度		5 新植、移植樹木、芝等の枯補償 (23.3.2) ~ (23.3.6)	※ 引渡しの日から1年 ○ 引渡しの日から 年 (23.3.2) ~ (23.3.6)							
	31 車止め	形式 材質 柱径・肉厚(mm) 高さ(mm) ※ 上下式埋内埋型 ※ スチール製(SUS304) ※ φ76.3 t=2.0 ※ GL+700 (○ スチール製付き) ○ ○ φ114.3 t=2.5 ○ GL+850 基礎 無筋コンクリート造 350×350 H250程度		5 カラー塗装 (22.6.3) ~ (22.6.6)	基礎 無筋コンクリート造 350×350 H250程度		5 新植、移植樹木、芝等の枯補償 (23.3.2) ~ (23.3.6)	※ 引渡しの日から1年 ○ 引渡しの日から 年 (23.3.2) ~ (23.3.6)							
	32 フェンス	表面仕上げ 種類 門扉の仕様 ※ 亜鉛めっき ○ 樹脂塗装 ○ メッシュフェンス ○ キスハントフェンス ○ 片開き ○ リール絞履 ○ ○ ネットフェンス ○ ○ 両開き		5 カラー塗装 (22.6.3) ~ (22.6.6)	基礎 無筋コンクリート造 350×350 H250程度		5 新植、移植樹木、芝等の枯補償 (23.3.2) ~ (23.3.6)	※ 引渡しの日から1年 ○ 引渡しの日から 年 (23.3.2) ~ (23.3.6)							



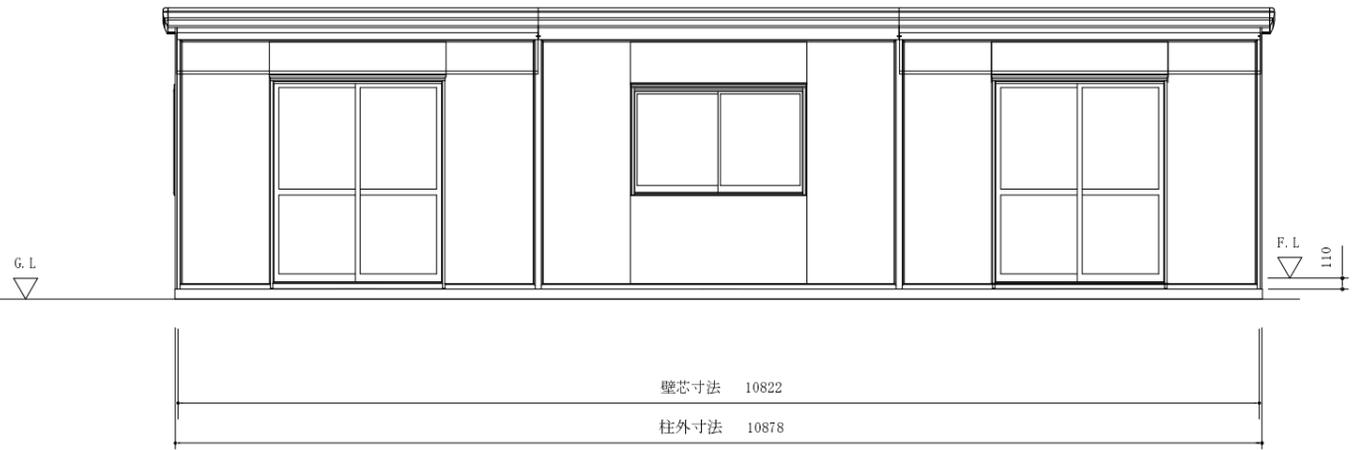
【クラブハウス】  
 鉄骨造(平屋建) 1棟 A=48.46㎡  
 電気設備工事 1.0式  
 (電灯幹線設置・屋内配線・照明器具)  
 As舗装撤去工 1.0式

【倉庫】  
 鉄骨造(平屋建) 1棟 A=26.37㎡

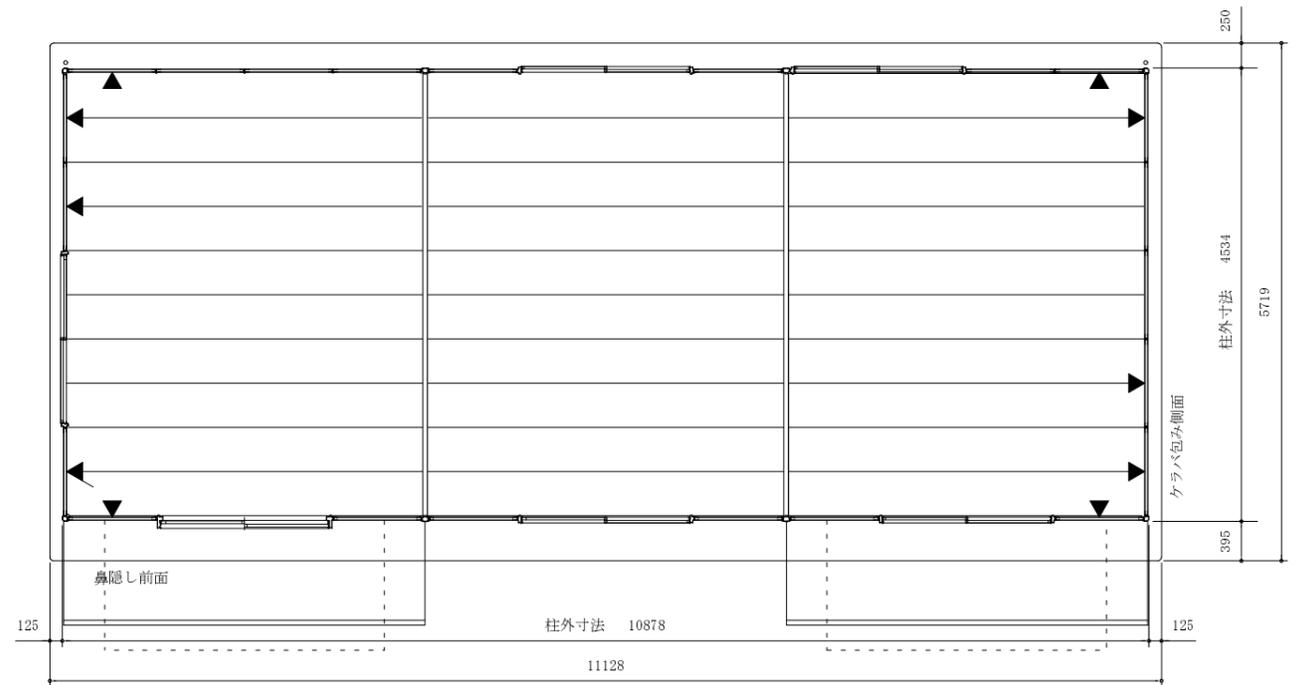
月日	工事名 26-A248E 平成26年度 グリーンランドみずほホッケー場クラブハウス設置工事	図面名称	縮尺	図面No.	設計No.				
		配置図	1/250	A-06					
			年月日						



側面立面図 S=1:50



正面立面図 S=1:50

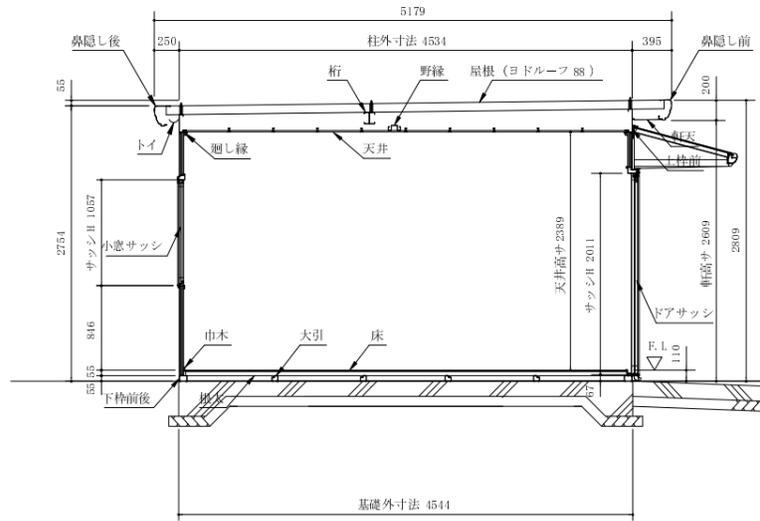


平面図 S=1:50

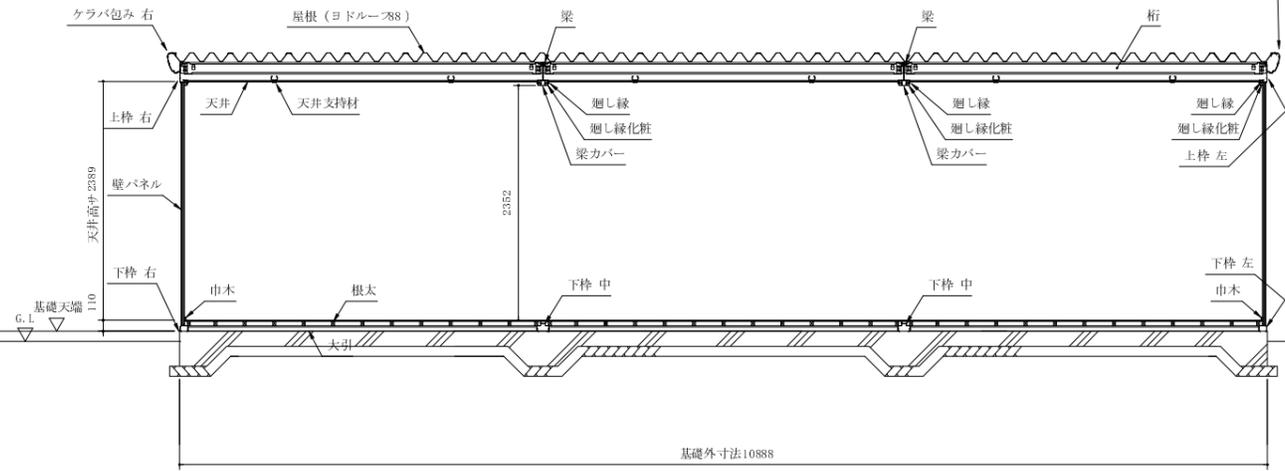
▼印はブレースパネルを示す。

間口 4枚  
奥行 6枚

月日	工事名	図面名称	縮尺	図面No.	設計No.				
	26-A248E 平成26年度 グリーンランドみずほホッケー場クラブハウス設置工事	平面図・正面立面図・側面立面図	S=1:50	A-07					
			年月日						



側面断面図 S=1:50



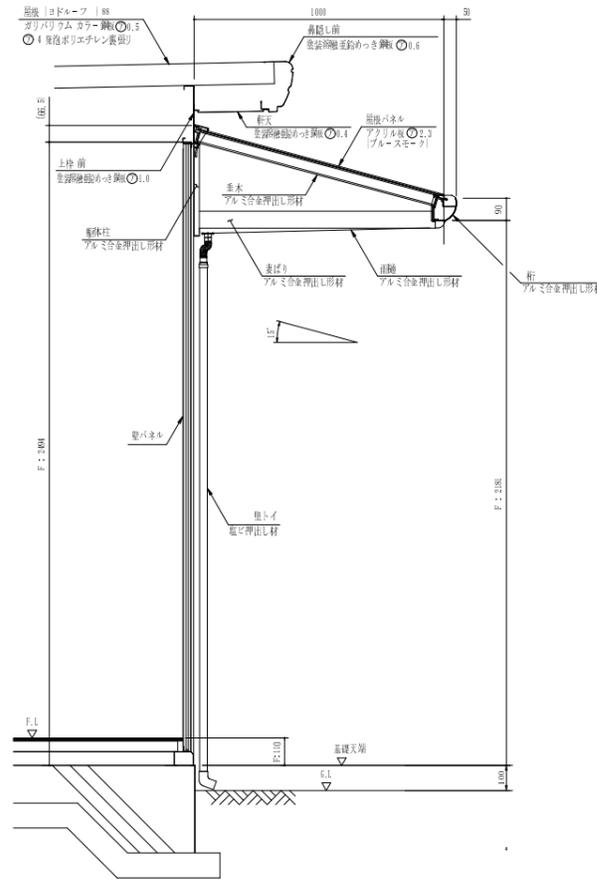
正面断面図 S=1:50

構造耐力上主要な部分の部材

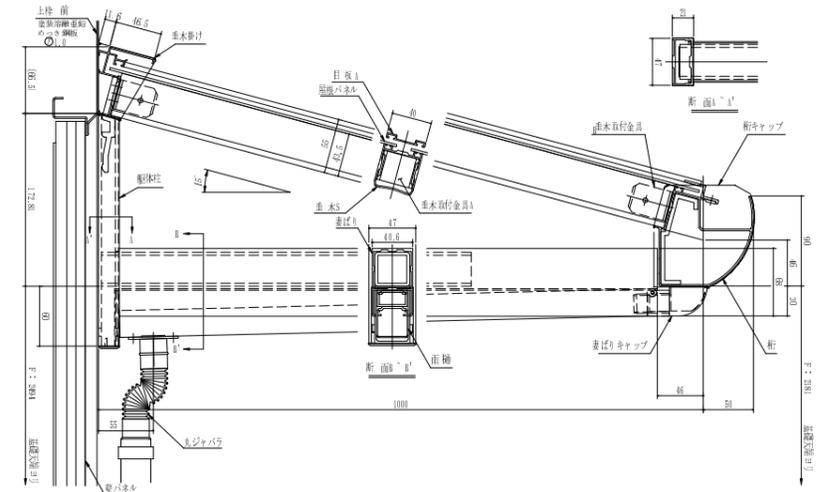
部材名	形状	規格	使用材料	有効断面積
柱	φ 60 × 60	1.0 × 1.2m	JIS S10102 炭素鋼圧延丸鋼材	5.95
中柱	φ 60 × 60	1.0 × 1.2m	JIS S10102 炭素鋼圧延丸鋼材	5.95
上枠前	22.5 × 41	1.0m	JIS S10102 炭素鋼圧延丸鋼材	-
上枠後	170 × 41	1.2m	JIS S10102 炭素鋼圧延丸鋼材	-
上枠左右	170 × 41	1.2m	JIS S10102 炭素鋼圧延丸鋼材	-
桁	113 × 52.5	2.3m	溶接継ぎ目つき鋼材	-
梁	161.5 × 24	3.2m	溶接継ぎ目つき鋼材	-
ブレース	-	7.0φ	JIS G3101 一般構造用圧延鋼材 S3450	-
ターンバックル	-	-	JIS A5541 建築用ターンバックル鋼 STEW34	-
アンカープレート	-	6.5m	JIS G3101 一般構造用圧延鋼材 S3450	-

構造耐力上主要な部分以外の部材

部材名	形状	規格	使用材料
屋根	ヨドローフ88 1mm厚ポリエチレン樹脂	0.5m	JIS C3322 炭素鋼圧延アルミニウム-亜鉛合金のつき鋼板 C45CC
下枠	77 × 55	1.0m	JIS C3322 炭素鋼圧延アルミニウム-亜鉛合金のつき鋼板 C45CC
大引	55 × 60	1.2m	JIS C3322 炭素鋼圧延アルミニウム-亜鉛合金のつき鋼板 C45CC
根太	43 × 30	-	両面材 (アビトン)
床	-	12mm	化粧合板
内装	-	-	鋼板
芯材	-	12mm	製造者リフレクソフォーム
外装	-	-	炭素鋼圧延アルミニウム-亜鉛合金のつき鋼板 (エンボス)
間接	φ 44 × 27	1.2m	JIS C3322 炭素鋼圧延アルミニウム-亜鉛合金のつき鋼板 S45CC
鼻隠し・トイ	-	0.6m	JIS C3322 炭素鋼圧延アルミニウム-亜鉛合金のつき鋼板 C45CC
鼻隠しコープラー	-	-	< 18A規格 >
軒先	-	0.4m	JIS C3322 炭素鋼圧延アルミニウム-亜鉛合金のつき鋼板 C45CC
天井	-	15mm	ロックワール 石膏板
壁・トイ	60φ	-	塩ビ樹脂
引戸	-	-	アルミサッシ
小窓	-	-	アルミサッシ

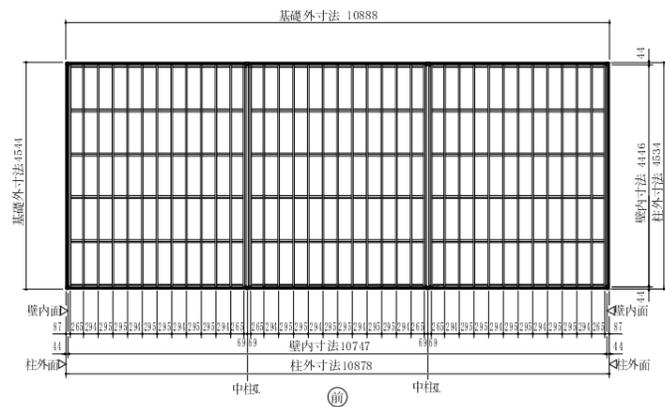


テラス縦断面図 S=1:20

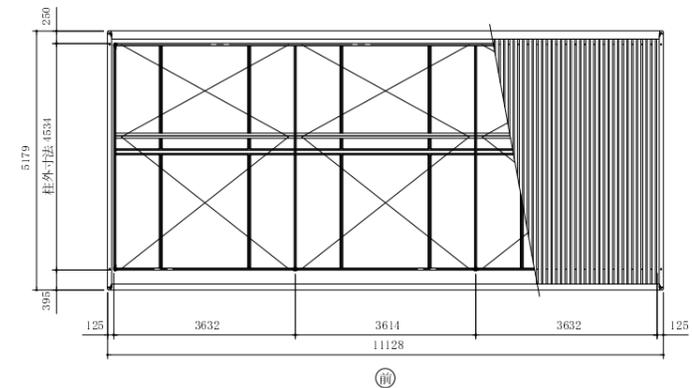


テラス縦断面詳細図 S=1:5

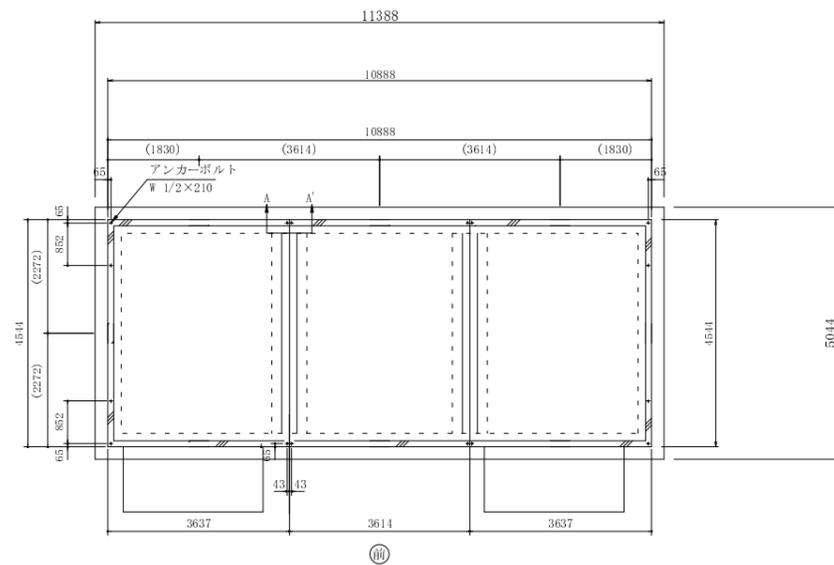
月日	工事名	図面名称	縮尺	図示	図面No.	設計No.				
	26-A248E 平成26年度 グリーンランドみずほホッケー場 クラブハウス設置工事	正面断面図・側面断面図・テラス縦断面図	年月日		A-08					



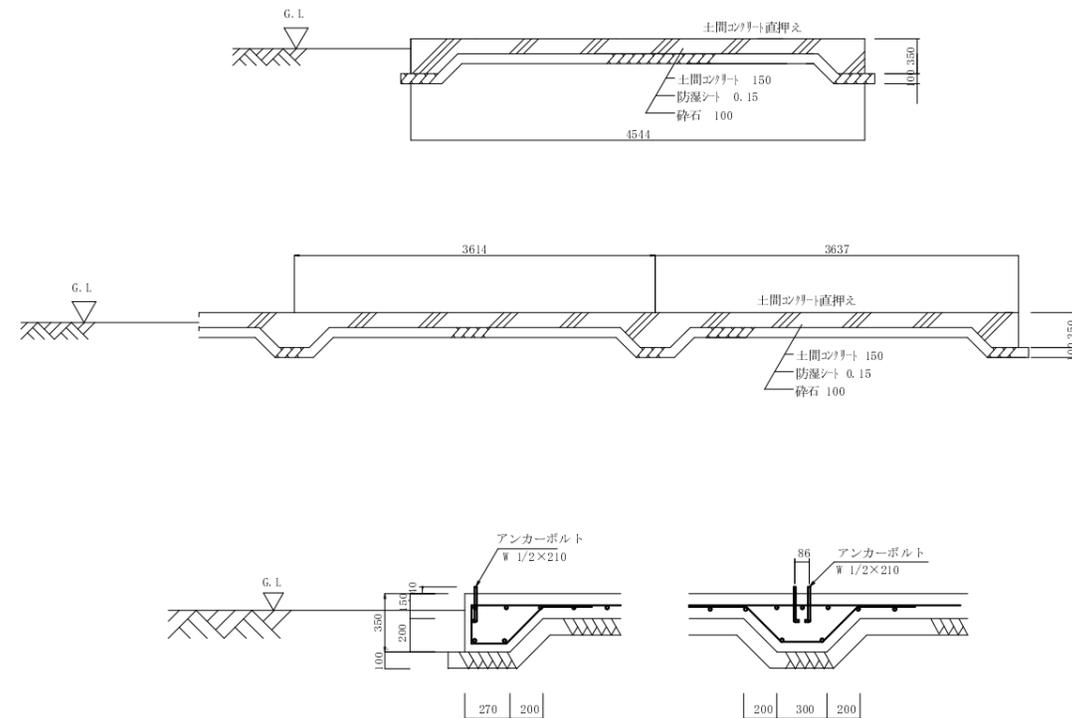
床伏図 S=1:100



小屋伏せ図 S=1:100



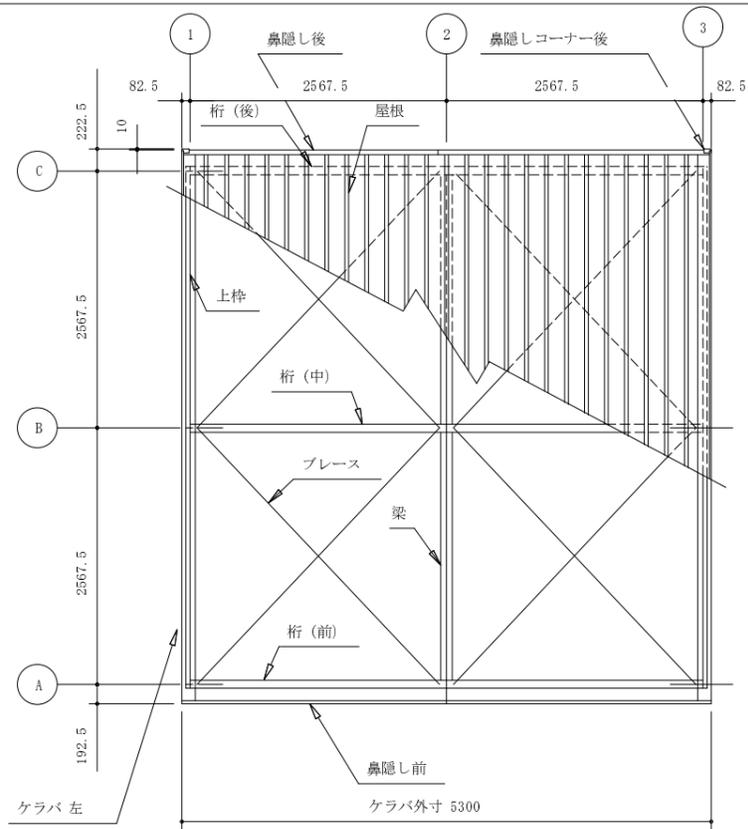
基礎図 S=1:100



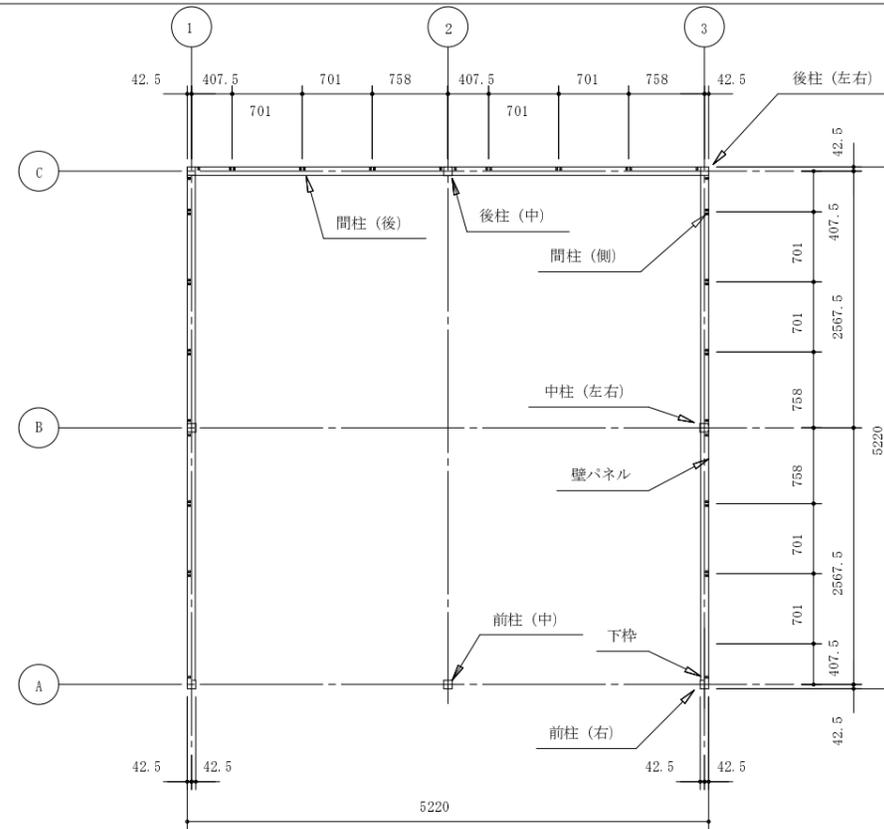
基礎断面図 S=1:30

アンカーボルトの止結は、  
ダブルナット等の戻り止め  
を施す事。

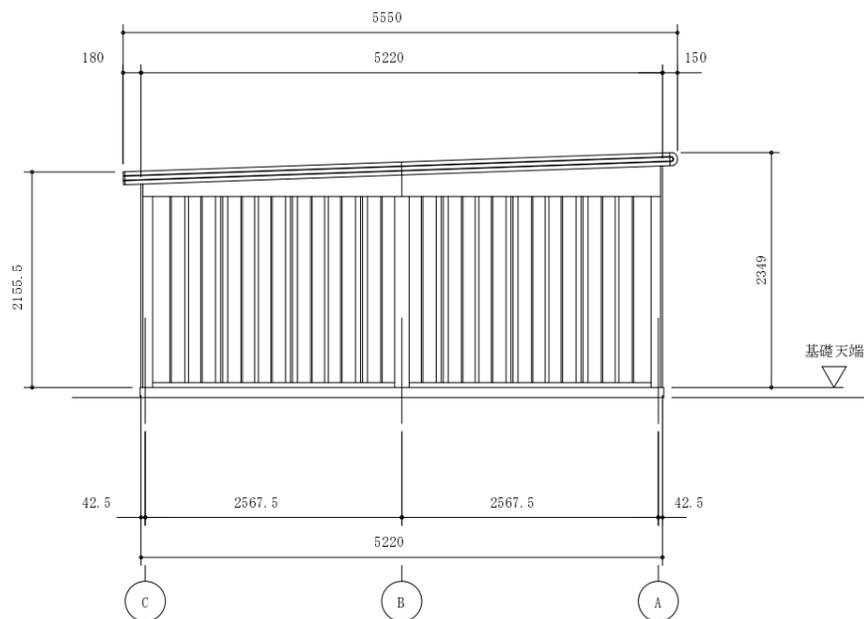
月日	工事名	図面名称	縮尺	図面No.	設計No.				
	26-A248E 平成26年度 グリーンランドみずほホッケー場クラブハウス設置工事	床伏図・小屋伏せ図・基礎図	S=1:100 S=1:30	A-09					
			年月日						



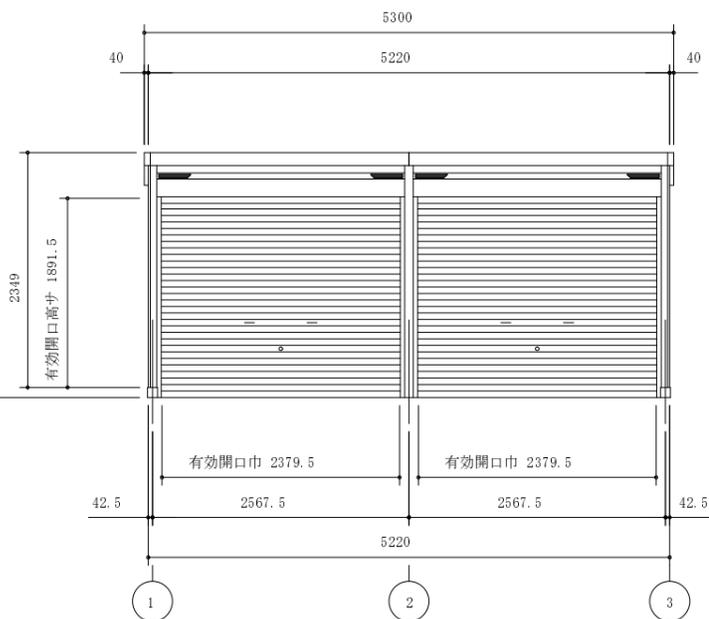
小屋伏図 S=1:50



平面図 S=1:50



側面立面図 S=1:50



正面立面図 S=1:50

月日	工事名 26-A248E 平成26年度 グリーンランドみずほホッケー場クラブハウス設置工事	図面名称	縮尺 1/50	図面No. A-10	設計No.				
		平面図・立面図・側面図・小屋伏図							

VGB-2652 (H) 型 2連棟

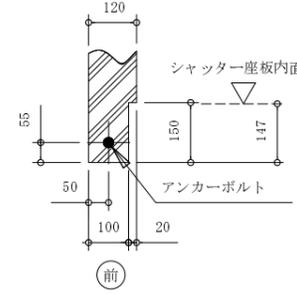
建築面積	26.37m <sup>2</sup> (7.98坪)	(間口柱芯寸法) x (奥行柱芯寸法)
------	-----------------------------	---------------------

構造耐力上主要な部分の部材

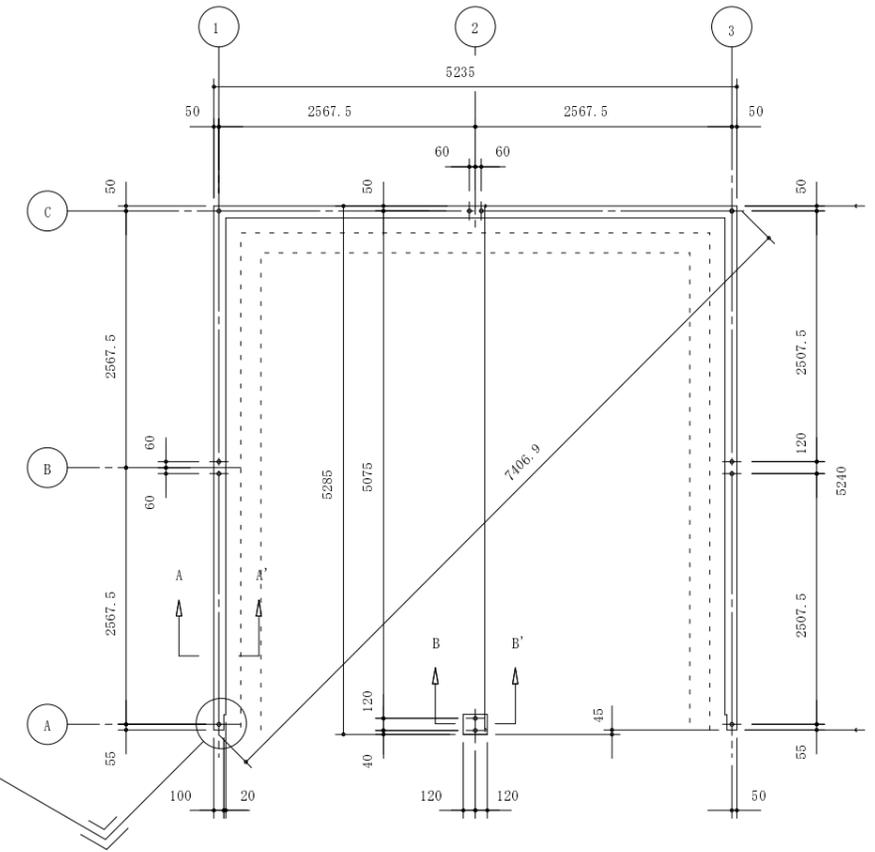
部材名	形状	板厚	使用材料	有効細長比
前柱	□ -85 x 115 x 26.5	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	71.0
後柱	□ -115 x 115 x 26.5	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	53.9
中柱(左右)	□ -85 x 145 x 26	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	76.2
後柱(中)	□ -85 x 85	2.3mm	塗装溶融亜鉛めっき鋼板	73.4
前柱(中)	□ -85 x 85	2.3mm	塗装溶融亜鉛めっき鋼板	74.9
桁前	┌-336 x 79 x 20	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
桁中	┌-183 x 79 x 30	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
桁後	┌-153 x 85 x 14	1.2mm	JIS G3322 塗装溶融5%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC	
梁	┌-290 x 114	2.3mm	塗装溶融亜鉛めっき鋼板	
壁パネル	~ -25 x 701(350.5)	0.5mm	JIS G3322 塗装溶融5%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC	
ブレース	—	7.0φ	JIS G3101一般構造用圧延鋼材 SS400	
ターンバックル	—	—	JIS A5541建築用ターンバックル鋼 STKM13A	
アンカープレート	—	6.0mm 9.0mm	JIS G3101一般構造用圧延鋼材 SS400	

構造耐力上主要な部分以外の部材

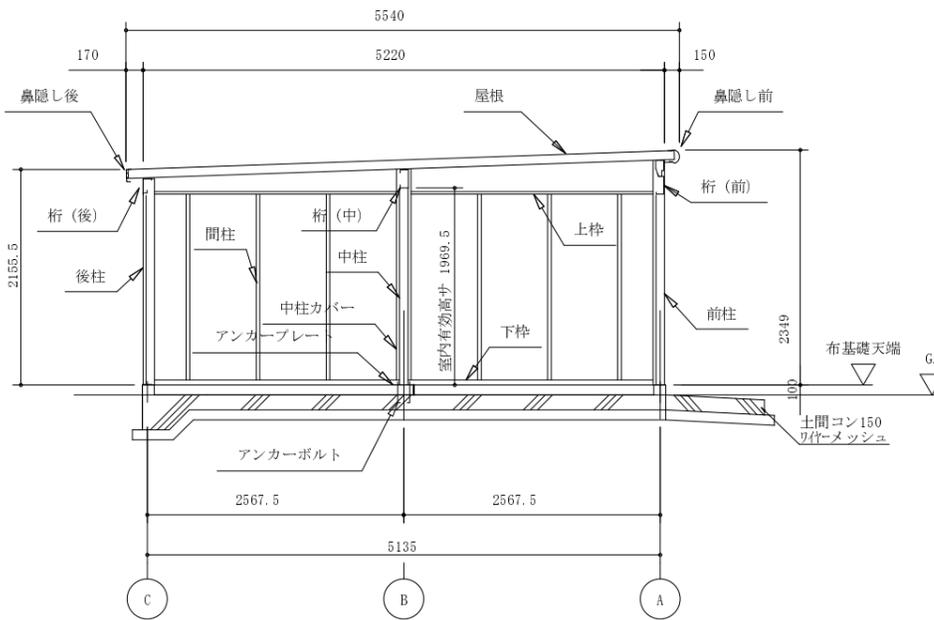
部材名	形状	板厚	使用材料
上枠	┌-360 x 46	1.0mm	JIS G3322 塗装溶融5%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
下枠	┌-70 x 60	1.0mm	JIS G3322 塗装溶融5%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
間柱	□ -24 x 31	1.2mm	JIS G3322 塗装溶融5%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
屋根	~ ヨドロールP88	0.5mm	JIS G3322 塗装溶融5%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
シャッタースラット	┌-14.5 x 71	0.5mm	JIS G3322 塗装溶融5%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
鼻隠し前	┌-130 x 113	0.6mm	JIS G3322 塗装溶融5%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
鼻隠し後	┌-122 x 48	0.5mm	JIS G3322 塗装溶融5%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
ケラバ	┌-130 x 135.5	0.5mm	JIS G3322 塗装溶融5%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC



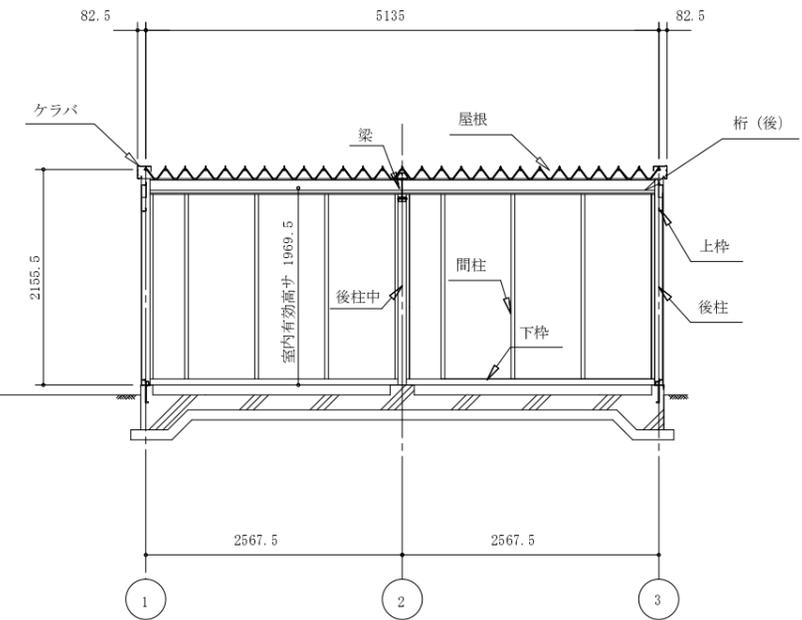
シャッター部分詳細図 S=1:20



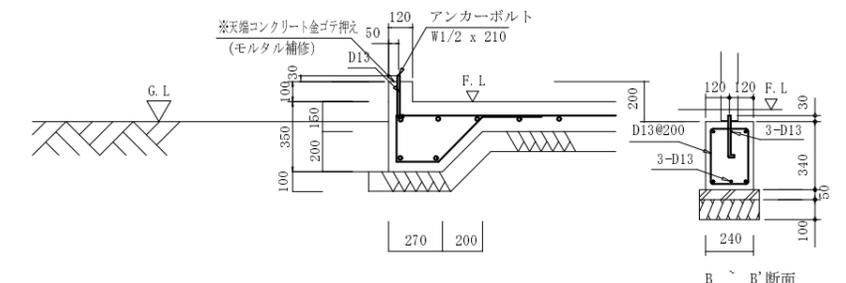
基礎伏図 S=1:50



側面断面図 S=1:50



正面断面図 S=1:50



基礎断面図 S=1:30

アンカーボルトの止結は、ダブルナット等の戻り止めを施す事。

月日	工事名	図面名称	縮尺	図示	図面No.	設計No.				
	26-A248E 平成26年度 グリーンランドみずほホッケー場クラブハウス設置工事	正面断面図・側面断面図・基礎伏図・基礎図		年月日	A-11					